



文化の継承

～心揺さぶる感動をあなたへ～

第31回

ふくおか県民 文化祭2023

記録集 ~Report~

CONTENTS

■ごあいさつ

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会会長	
福岡県知事 服部 誠太郎	P03
ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会委員長	
福岡県文化団体連合会 会長 貫 正義	P04

■総括編

令和5年度 ふくおか県民文化祭開催要綱	P06
第31回ふくおか県民文化祭2023 開催事業一覧	P07

■事業編

第31回ふくおか県民文化祭2023 表彰式	P11
福岡県文化賞贈呈式&記念イベント	P12
2023 ふくおか県障がい児者美術展	P13
2023 福岡県シニア美術展	P15
ツナガルアートフェスティバル FUKUOKA	P17
ふくおか文化ボランティアフォーラム2023	P18

【子ども文化事業 / 観賞・発表事業】

親子で楽しむこどもオペラ3匹のこぶた	P19
コミカル・クラウン・サーカス	P20
第26回ジュニアときめき文化祭	P21
大濠公園能楽堂子ども能楽教室	P22
芸術体験講座	P23

【特色ある県民文化創造事業】

アクロス・クラシックふえすた2023	P27
水都(suito) 柳川能	P28
BUZEN ENERGY 2023 ~未来へ~	P29
福岡県大学園祭2023	P30
道雪会第7回文化講演会	P31
能古島国際映画祭2023 ~ショートショートフィルムフェスティバル&アジア25周年記念~	P32
「第九」コンサートむなかた2023	P33

【分野別フェスティバル】

第 78 回福岡県美術展覧会（県展）	P34
第 29 回ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル	P36
第 13 回筑豊地区中学校総合文化祭	P37
吟剣詩舞フェスティバル	P38
県民茶会	P39
押し花フェスティバル	P40
短歌大会	P41
第 15 回バレエフェスティバル	P42
第 72 回筑前琵琶鑑賞会	P43
「筑後詩の地脈、水脈をたどる」	P44
俳句大会	P45
福岡県和太鼓フェスティバル	P46

【地域別フェスティバル】

ふくおか県民文化祭 2023 in くるめ	P47
第 26 回 福岡Ⅱブロック「芸術の祭典」in 大野城	P48
福岡Ⅰブロック芸術文化のつどい	P49
「猿が翔んだ!～石原宗祐物語～」演劇公演	P50
第 24 回京築ふるさと文化祭	P51
北九州ブロック芸能のつどい	P52
筑豊ブロック事業筑豊合唱フェスティバル	P53
南筑後ブロック芸能フェスティバル	P54
第 18 回福岡文化連盟祭り「藝術舞台 2023」	P55

■協賛事業編

協賛事業	P57
------	-----

■資料編

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会名簿	P70
ふくおか県民文化祭企画委員会委員名簿	P70

ごあいさつ

福岡県では、文化芸術に身近に触れる機会を県民の皆さまに提供し、文化芸術活動の裾野の拡大や新しい県民文化の創造と発展を図るため、平成5年から毎年、ふくおか県民文化祭を開催しています。

31回目となる今回の開催テーマは、「文化の継承～心揺さぶる感動をあなたへ～」でした。県内25の市町で、地域の特色を生かし、趣向を凝らしたコンサートや演劇をはじめ、能楽や和太鼓といった伝統芸能の公演や、子どもたちの豊かな人間性と個性を育む「芸術体験講座」など、地域文化の創造や発信につながる多彩なイベントを行いました。

「ふくおか県障がい児者美術展」には、過去最多となる854人の方々から出品があり、県内4会場で展覧会を実施しました。約6,000人の皆さまにご来場いただき、障がいのある方の文化芸術活動への関心や理解を深めていただく機会となりました。

また、今回新たにふくおか県民文化祭の事業に加わった「福岡県シニア美術展」では、高齢者の方々による日本画、洋画、彫刻など、全7部門・478点の力作が展示されました。

各イベントの開催にご尽力いただいた多くの関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

文化芸術は、人々の心を豊かにし、生活の質を高め、潤いと活力に満ちた地域社会を実現するために欠かすことのできない重要なものです。

県では、今後とも誰もが多様な文化芸術を気軽に楽しめる社会づくりを進めてまいります。引き続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

ふくおか県民文化祭を契機として、県民の皆さまに文化芸術の素晴らしさを実感していただくとともに、文化芸術が、地域に活気をもたらす一助となることを心から祈念いたします。

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会会長
福岡県知事 服部 誠太郎



ごあいさつ

「第31回ふくおか県民文化祭2023」は、「文化の継承～心揺さぶる感動をあなたへ～」をテーマに、県内各地で多彩なイベントを開催することができました。これもひとえに県民の皆様のご支援とご協力によるものと感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな行事の中止や縮小が相次いだ3年間でしたが、今年度は市町村や文化団体が中心となって39の主催事業が開催され、以前の盛り上がり徐々に戻りつつあるように感じます。

芸術体験講座では、今年度も特別支援学校での実施を含め、12の学校において約1000名の児童・生徒たちが直接、文化芸術を体験し、豊かな心を育む一助になったものと考えます。

さらに、ふくおか県民文化祭の趣旨に賛同し実施される協賛事業も、県内各地で数多く開催していただき、各会場においては、文化芸術を通じた交流が活発に行われたものと思います。

文化芸術活動は、心を豊かにするだけでなく、生きる力を与えてくれるものです。子どもから大人まで、参加者が協力してひとつの作品を作り上げることで、日常では得難い感動を体験できます。一連の活動を通じて文化芸術が発展することはもちろん、文化芸術が地域の活力を取り戻す大きな原動力になるものと信じています。

最後になりましたが、県民文化祭の開催にあたってご尽力いただきました関係団体・市町村の方々に心より感謝申し上げますとともに、今後ますますのご活躍とご健勝を祈念いたします。

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会委員長
福岡県文化団体連合会 会長
貫 正義



總括編



令和5年度 ふくおか県民文化祭開催要綱

1 総 則

ふくおか県民文化祭（以下「県民文化祭」という。）を開催し、運営するため、この要綱を定める。

2 目 的

文化芸術は、人々の心を癒し、明日への希望を与え、豊かで潤いのある生活を送る上で重要な役割を担っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県民の皆様が文化芸術活動はもとより、様々な社会活動の自粛を余儀なくされていることに鑑み、県民文化祭の開催を通じて、子どもから大人まで、幅広い世代の人々に安らぎと勇気を与え、文化芸術の素晴らしさを実感し、県全体の活気を取り戻す一助とすることを目的として開催する。

3 名 称

第31回ふくおか県民文化祭2023

4 主 催

福岡県、福岡県教育委員会、開催市町村、ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会、福岡県文化団体連合会、福岡県障害者社会参加推進センター、ふくおか県民文化祭事業別実行委員会

5 事業内容

県民文化祭の事業は、次のとおりとする。

(1) 表彰式

「開催テーマ」表彰や「福岡県地域文化功労者」表彰、「ふくおか県障がい児者美術展」表彰等を行う。

(2) 子ども文化事業

○鑑賞・発表事業

子どもの文化活動の発表の場や芸術鑑賞の機会を提供し、子ども文化活動の充実を図る。

○芸術体験講座

地域や学校において、子どものための芸術体験講座を開設する。

(3) 特色ある県民文化創造事業

地域の意欲的な文化活動及び県民による新たな芸術文化活動への取組を支援することで、特色ある地域文化を活かした個性豊かな県民文化の創造を促進する。

(4) 分野別フェスティバル

福岡県文化団体連合会に加盟する文化団体に対し、発表の場を提供することによって、文化団体の活性化と交流を促進する。

(5) 地域別フェスティバル

福岡県文化団体連合会の地域ブロック毎に開催し、市町村文化団体の他地域との文化交流を図るとともに、県民の文化活動への参加を促進する。

(6) 県主催事業

ふくおか文化ボランティアフォーラム 2023、福岡県文化賞贈呈式&記念イベント、2023 ふくおか県障がい児者美術展、ツナガルアートフェスティバル FUKUOKA、2023 福岡県シニア美術展を実施する。

(7) 協賛事業

ふくおか県民文化祭の趣旨に賛同する県内の市町村、文化団体及び企業等が実施する、文化芸術活動の振興に寄与することを目的とする事業を通じて、県内全域で文化芸術に触れる機会を増やす。

6 開催期間及び開催地

10月から12月に、県内各地で実施する。

7 マスコットキャラクター

「飛梅丸」を県民文化祭のマスコットキャラクターとする。



第31回ふくおか県民文化祭2023 開催事業一覧

事業名		主催者(実施主体)	開催日	会場	参加人数	参加人数 事業別計			
第31回ふくおか県民文化祭2023表彰式		ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会	12月2日(土)	クローバープラザ	140	140			
福岡県文化賞贈呈式&記念イベント		ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会	令和6年 3月19日(火)	アクロス福岡	150	150			
2023ふくおか県障がい児者美術展	ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会		11月7日(火) ~17日(金)	福岡県庁	6,947	6,947			
			11月21日(火) ~26日(日)	九州芸文館					
			12月5日(火) ~10日(日)	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー					
			12月13日(水) ~17日(日)	嘉麻市立 織田廣喜美術館					
2023福岡県シニア美術展		ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会	10月7日(土) ~15日(日)	福岡県立美術館	3,233	3,233			
ツナガルアートフェスティバルFUKUOKA		ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会	令和6年 2月24日(土)	久留米シティプラザ	1,250	1,250			
ふくおか文化ボランティアフォーラム2023		NPO法人文化ボランティア とびうめの会	12月7日(木)	アクロス福岡	43	43			
子ども文化事業	鑑賞・発表 事業	親子で楽しむこどもオペラ3匹のこぶた	久留米市子ども文化事業実行委員会	11月18日(土)	久留米市城島総合文化センター	360	4,042		
		コミカル・クラウン・サーカス	「桂川町文化事業」実行委員会	11月26日(日)	桂川町住民センター	282			
		第26回ジュニアときめき文化祭	ジュニアときめき文化祭実行委員会	12月16日(土) ~17日(日)	大野城まどかびあ	3,311			
		大濠公園能楽堂子ども能楽教室	大濠公園能楽堂子ども能楽教室実行委員会	12月26日(火) ~28日(木)	大濠公園能楽堂	89			
	芸術体験講座	県内の小中学校および特別支援学校12校で開催					1,067		
特色ある 県民文化 創造事業	I	アクロス・クラシックふえすた2023	アクロス・クラシックふえすた実行委員会	10月7日(土) ~8日(日)	アクロス福岡	17,835	29,283		
		水都(suito)柳川能	「水都(suito)柳川能」実行委員会	10月22日(日)	柳川市民文化会館	840			
		BUZEN ENERGY 2023 ~未来へ~	ふくおか県民文化祭豊前市実行委員会	11月19日(日)	豊前市立多目的文化 交流センター	650			
	II	福岡県大学園祭2023	福岡県大学園祭実行委員会	9月30日(土) ~10月1日(日)	天神中央公園	5,000			
		道雪会第7回文化講演会	道雪会第7回文化講演会実行委員会	10月8日(日)	福岡工業大学	732			
		能古島国際映画祭2023 ~ショートショートフィルムフェスティバル &アジア25周年記念~	能古島国際映画祭実行委員会	10月22日(日)	のこのしま アイランドパーク	3,000			
	「第九」コンサートむなかた	「第九」コンサートむなかた2023実行委員会	12月3日(日)	宗像ユリックス	1,226				
分野別フェスティバル	第78回福岡県美術展覧会(県展)		福岡県美術展覧会実行委員会	9月5日(火) ~11月26日(日)	福岡県立美術館 他4会場	13,504	19,749		
	第29回 ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル 実行委員会		ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル 実行委員会	10月8日(日)	なかまハーモニーホール 大ホール	622			
	第13回筑豊地区中学校総合文化祭		筑豊地区中学校総合文化祭実行委員会	10月8日(日) ステージ部門 10月14日(土)~ 15日(日) 展示部門	飯塚市文化会館「イツ カコスモコモン」、 嘉麻市織田美術館	811			
	吟剣詩舞フェスティバル		吟剣詩舞フェスティバル実行委員会	10月9日(月・祝)	福岡市立 城南市民センター	443			
	県民茶会		「県民茶会」事業実行委員会	10月22日(日)	国登録有形文化財 「梶島家住宅」	198			
	押し花フェスティバル		押し花フェスティバル実行委員会	10月27日(金) ~29日(日)	アクロス福岡 交流 ギャラリー	479			
	短歌大会		短歌大会実行委員会	10月29日(日)	福岡商工会議所	506			
	第15回バレーフェスティバル		第15回バレーフェスティバル実行委員会	11月3日(金・祝)	福岡市民会館 大ホール	471			
	第72回筑前琵琶鑑賞会		筑前琵琶鑑賞会実行委員会	11月5日(日)	福岡市美術館 ミュージアムホール	173			
	「筑後詩の地脈、水脈をたどる」		「筑後詩の地脈、水脈をたどる」実行委員会	11月5日(日)	久留米市文化センター 共同ホール	109			
	俳句大会		俳句大会実行委員会	11月17日(金)	大野城まどかびあ	2,105			
	福岡県和太鼓フェスティバル		福岡県和太鼓フェスティバル実行委員会	11月26日(日)	クリエイト篠栗	328			
	地域別フェスティバル	ふくおか県民文化祭2023 in くるめ		ふしぎの国のRENとBUN実行委員会	10月21日(土)	久留米シティプラザ 久留米座		445	8,277
		第26回 福岡IIブロック 「芸術の祭典」in大野城		第26回福岡IIブロック 「芸術の祭典」in大野城実行委員会	10月21日(土) ~22日(日)	大野城まどかびあ		1,619	
		福岡Iブロック芸術文化のつどい		福岡Iブロック芸術文化のつどい実行委員会	10月22日(日)	サンレイクかすや さくらホール		1,200	
「猿が翔んだ!~石原宗祐物語~」 演劇公演		「石原宗祐物語」演劇公演実行委員会	11月25日(土) ~26日(日)	J:COM北九州芸術 劇場 中劇場	1,101				
第24回京築ふるさと文化祭		第24回京築ふるさと文化祭実行委員会	11月25日(土) ~26日(日)	苅田町三原文化会館 苅田町立中央公民館	754				
北九州ブロック芸能のつどい		北九州ブロック芸能のつどい実行委員会	12月3日(日)	ユメニティのおがた 大ホール	405				
筑豊ブロック事業 筑豊合唱フェスティバル		筑豊ブロック事業筑豊合唱フェスティバル 実行委員会	12月3日(日)	糸田アリーナ	451				
南筑後ブロック芸能フェスティバル		南筑後ブロック芸能フェスティバル 実行委員会	12月9日(土)	柳川市民文化会館 「水都やなかわ」	1,356				
第18回福岡文化連盟祭り 「芸術舞台2023」		第18回福岡文化連盟祭り実行委員会	12月16日(土) ~17日(日)	福岡市立南市民センター 文化ホール	946				

事業名	主催者(実施主体)	開催日	会場	参加人数	参加人数 事業別計
第10回福岡オーガニックマルシェ	一般社団法人ジオーガニックデイズ	9月30日(土)、 10月1日(日)	舞鶴公園三ノ丸広場	6,584	71,298
福岡市東図書館 「第14回 知的書評合戦ビブリオバトル」	福岡市東図書館	10月1日(日)	なみきスクエア1階 ひまわりひろば	33	
黒風船 第2回 原画展	株式会社日比谷花壇(指定管理者)	10月3日(火) ~15日(日)	旧福岡県公会堂貴賓館	1,043	
福岡市東図書館 「児童文学作家のいちにち ~書くということ・伝えたい思い・本が生まれるまで~」	福岡市東図書館	10月8日(日)	なみきスクエア1階 ひまわり会議室1	47	
MIN-ON九州オリジナルコンサート Viento&和楽団JapanMarvelous ~九州大陸大地の物語~“生さば!”	MIN-ON(一般財団法人民主音楽協会)	10月12日(木)	福岡サンパレスホテル& ホール	3,110	
ピアノ界の革命児×義足のダンサー!魂の共鳴! 中村天平×大前光市 ~INFINITY~	MIN-ON(一般財団法人民主音楽協会)	10月13日(金)	田川文化センター	784	
第51回行橋市民文化祭	行橋市・行橋市教育委員会・行橋市文化協会	10月14日(土) ~11月4日(土)	コスメイト行橋、 行橋中央公民館	10,100	
福岡市東図書館「生きるための絵本 ~命生まれるときから 命尽きるまでの絵本~」	福岡市東図書館	10月15日(日)	なみきスクエア1階 なみきホール	301	
2024年コミュニケーション・アートカレンダー原画展	NPO法人コミュニケーション・アート	10月17日(火) ~10月29日(日)	カフェ&ギャラリー 「レ・グラン」 (西鉄下大利駅近く)	231	
えーるピア久留米文化祭	公益財団法人久留米市生きがい健康づくり財団・ 久留米市・久留米市教育委員会	10月21日(土) ~10月22日(日)	えーるピア久留米	2,915	
第20回 FOSA文化ショー	福岡県留学生会(FOSA)	10月21日(土)	イベントホール (アクロス福岡地下2階)	109	
筑前琵琶保存会第59回定期演奏会~関(とき)の声~	筑前琵琶保存会	10月29日(日)	ハビヨン24 ガスホール	332	
第50回久留米ちくご大歌舞伎	久留米ちくご大歌舞伎振興会・ 久留米ちくご大歌舞伎実行委員会	10月29日(日)	久留米シティプラザ 「ザ・グラントホール」	1,726	
フランドン農学校の豚~注文の多いオマケ付き~	公益財団法人大野城まどかびあ	10月29日(日)	大野城まどかびあ 大ホール	348	
宮地嶽第56回光の道全国競書大会	宮地嶽光の道全国競書大会実行委員会	①10月29日(日) ~11月8日(水) ②11月21日(火) ~12月3日(日)	①宮地嶽神社 ②九州国立博物館	2,372	
甘木盆唄保存公演	甘木盆唄保存会	10月29日(日) 開場 12:30 開演 13:00	朝倉市総合市民センター (ピーボート甘木) 大ホール	930	
第42回古賀市芸術文化の祭典	古賀市・古賀市教育委員会	11月1日(水) ~11月5日(日)	リーバスプラザこが	4,698	
第19回福津市民文化祭	福津市文化協会	11月3日(金・祝) ~5日(日)	福津市複合文化センター 文化会館(カメリアホール)	4,262	
第41回大川市総合美術展	大川市・大川市教育委員会・大川文化協会	11月3日(金・祝) ~9日(木)	大川市文化センター (大川市大字酒見 221番地11)	1,652	
第45回まどか文化祭	大野城市文化連盟	11月4日(土)、 5日(日)	(公財)大野城まどかびあ 大ホール・多目的ホール	2,924	
民音創立60周年記念 ラヤトンジャパン・ツアー2023 フィンランド史上最高のアカペラ・グループ、待望の再来日!	MIN-ON(一般財団法人民主音楽協会)	①11月5日(日) ②11月6日(月)	①北九州ソレイユホール ②アクロス福岡 シンフォニーホール	1,328	
令和5年度朝倉市民芸術祭 あざくら音楽祭	甘木連合文化会	11月5日(日)	ピーボート甘木 大ホール	175	
FUKUOKATEXILE展 織物デザイナーTissageNishi西智子作品展	株式会社日比谷花壇(指定管理者)	11月7日(火) ~11月12日(日)	旧福岡県公会堂貴賓館	556	
民音創立60周年記念 ANATA(アナタ)・BOLIVIA(ボリビア) アンデスから届けよう喜びの歌	MIN-ON(一般財団法人民主音楽協会)	①11月9日(木) ②11月10日(金)	①イツカコスモスコモン ②ザザンクス筑後	1,892	
第6回那珂川市民文化祭	那珂川市、那珂川市教育委員会、那珂川市文化協会、 公益財団法人那珂川市教育文化振興財団	11月11日(土)、 12日(日)	ミリカローデン那珂川、 ふれあいこども館	3,534	
第34回小郡市民文化祭	小郡市民文化祭実行委員会、小郡市、小郡市教育 委員会、小郡市文化協会	11月11日(土)、 12日(日)	小郡市文化会館、 小郡市生涯学習センター	2,025	
福岡市東図書館 「7人の語り手による おはなしあれこれ」	福岡市東図書館	12月10日(日)	なみきスクエア ひまわり会議室	44	
行橋連歌大会	連歌大会行橋市実行委員会	11月11日(土)	今井浄喜寺	58	
第27回マナビランド	久留米生涯学習推進市民協会	11月12日(日)	えーるピア久留米 全館	1,620	
第64回(令和5年度)朝倉市美術展	朝倉市美術展実行委員会	11月14日(火) ~23日(木・祝)	朝倉市総合市民センター (ピーボート甘木)2階 学習室	971	
第13回裂田溝ライトアップ	裂田溝ライトアップ実行委員会	11月18日(土)	那珂川市山田區(伏見神社) ~安徳區(カワセミ公園)	6,050	
令和5年度民謡民舞福岡県南部連合大会	公益財団法人日本民謡協会 福岡県南部連合委員 会	11月19日(日)	久留米市文化センター 共同ホール	117	
嶺清流筑前琵琶「おとり座」第2回定期演奏会 それぞれの戦い	嶺清流筑前琵琶「おとり座」	11月23日(木・祝)	法光山専立寺・本堂	63	
黒田長政没後400年 東蓮寺藩誕生400年記念事業	九州桃山茶陶研究会	11月25日(土)	ユメニティのおがた	330	
バイオリンとピアノの名曲リサイタル	モチコピアノスクール	11月25日(土)	FFGホール	412	
精華女子短期大学コミュニティーオーケストラ 20周年記念 第20回定期演奏会	精華女子短期大学コミュニティーオーケストラ 精華女子短期大学	11月26日(日)	アクロス福岡 シンフォニーホール	910	

協賛事業

事業名	主催者(実施主体)	開催日	会場	参加人数	参加人数 事業別計
箏曲宮城会九州支部演奏会	箏曲宮城会九州支部	11月26日(日)	福岡市立中央市民センターホール	313	協賛事業
ボディパーカッション実践講座	博多音楽療法コミュニティ・LINKS	11月26日(日)	そびあしんぐう多目的ホール	29	
令和5年度朝倉市民芸術祭 秋の芸能祭	甘木連合文化会	11月26日(日)	ビーボート甘木大ホール	99	
第30回記念アジア美術家連盟日本委員会展	アジア美術家連盟日本委員会	11月30日(木)~12月5日(火)	福岡アジア美術館 企画ギャラリーA、B、C室	1,363	
「ガムラン∞天女の舞」曼荼羅	アートカフェコレクティブ	12月1日(金)、2日(土)	福岡アジア美術館「アートカフェ」	391	
民音創立60周年記念 インドミュージカル「ムンバイ☆スター」 話題のハリウッドダンスが躍動する、愛と師弟の物語!	MIN-ON (一般財団法人民主音楽協会)	①12月1日(金) ②12月2日(土)	①福岡サンパレスホテル & ホール ②北九州ソレイユホール	1,672	
2023バレエ&モダンダンス—時間(とき)のかげら—	後藤バレエスタジオ	12月3日(日)	田川文化ホール 大ホール	681	
第30回 賢順記念全国箏曲祭賢順記念全国コンクール	一般社団法人賢順記念全国箏曲祭振興会	12月3日(日)	久留米市石橋文化ホール	533	
賢順記念全国コンクール	ちくしの人形劇まつり実行委員会	12月10日(日)	筑紫野市文化会館	1,091	
福岡市東図書館「クリスマスおはなし会」	福岡市東図書館	12月17日(日)	なみきスクエア2階 第1・2会議室	77	
筑紫野市吹奏楽団 第43回定期演奏会	筑紫野市吹奏楽団	12月24日(日)	筑紫野市文化会館 大ホール	463	
主催・協賛事業計					

事業編



第31回ふくおか県民文化祭2023表彰式



芸術文化の未来を照らす 輝く功績と笑顔

会場 クローバープラザ クローバーホール

開催日 令和5年12月2日(土)

事業概要

春日市のクローバープラザにおいて「第31回ふくおか県民文化祭2023表彰式」を開催。今年度のテーマ「文化の継承～心揺さぶる感動をあなたへ～」の考案者に贈られる開催テーマ表彰、福岡県地域文化功労者表彰、ふくおか県障がい児者美術展表彰、福岡県シニア美術展表彰の計4部門での表彰を行った。

当日の状況

表彰式では、主催者を代表して服部知事が、「表彰を受けられる皆さま方にお祝いを申し上げます」と挨拶した。その後、今回の受賞者26名・1団体（開催テーマ表彰1名、福岡県地域文化功労者表彰3名・1団体、ふくおか県障がい児者美術展表彰15名、福岡県シニア美術展表彰7名）に対して賞状を手渡し、部門ごとに記念撮影を行った。

表彰式終了後には、「ふくおか県障がい児者美術展ギャラリートーク」を開催した。9名の受賞者（絵画部門4名、書道部門3名、写真部門2名）が参加し、審査員とトークを繰り広げた。

まとめ

当日は、受賞者のほか、来賓や関係者などあわせて約140名が参加し、多くの観客が見守る中、受賞者の方々は晴れ晴れとした笑顔を浮かべていた。また、今年度の表彰式では、新たに県民文化祭事業に加わった福岡県シニア美術展の表彰を初めて実施した。

「ふくおか県障がい児者美術展ギャラリートーク」では、審査員が作品を評価したポイントなどを解説した後、受賞者一人ひとりが、作品に対する思いや、今後挑戦したい作品などについて堂々と語っていた。

会場はお祝いムードに包まれ、受賞者にとって特別な「ハレの日」となったようだ。

当日プログラム

- 1 主催者挨拶
ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会会長
福岡県知事 服部 誠太郎
- 2 来賓祝辞
福岡県議会議長 香原 勝司
- 3 来賓等紹介
- 4 開催テーマ表彰
- 5 福岡県地域文化功労者表彰
- 6 2023ふくおか県障がい児者美術展表彰
- 7 2023福岡県シニア美術展表彰
- 8 障がい児者美術展ギャラリートーク

福岡県文化賞贈呈式&記念イベント



第31回 福岡県文化賞 Fukuoka Prefecture Culture Awards 2023



受賞者の業績を称え、その功績を広くお披露目する贈呈式及び記念イベントを開催

会場 アクロス福岡 1階 円形ホール

開催日 令和6年3月19日(火)

事業概要

福岡県では、県民の皆さんの幅広い文化活動を促進し本県文化の向上・発展を図るため、文化振興に顕著な功績のあった個人や団体に「福岡県文化賞」を贈呈している。第31回の受賞者は、創造部門は能楽師 観世流シテ方の坂口信男(さかくちのぶお)さん、坂口貴信(さかくちたかのぶ)さん、社会部門は劇団ショーマンシップ、奨励部門は画家の田中千智(たなかちさと)さん。受賞者の業績を称え、その功績を披露する贈呈式と記念イベントを開催する。

当日の状況

贈呈式では、知事から賞状やトロフィーが贈られた後、受賞者の皆さんから喜びの声をいただいた。記念イベントでは、劇団「ギンギラ太陽's」主宰の大塚ムネトさんをナビゲーターに迎え、坂口信男さん、坂口貴信さんによる謡「箱崎」の美演や、田中千智さんによるトークイベント、劇団ショーマンシップによる歌の披露が行われ、来場者も大いに楽しまれ

ている様子だった。また、別会場において会場の様子をライブ中継するとともに各受賞者の活動を紹介する展示を行い、多くの方々に見ていただくことができた。

まとめ

今年度はコロナ禍で中止していた記念イベントを5年ぶりに開催し、県民の皆様にも受賞者の功績を広くお披露目することができた。また、3月上旬には、福岡県庁1階ロビーで、これまでの受賞者を紹介するロビー展を行い、来庁された方々に見ていただくことができた。今後も福岡県ゆかりの方の活躍、福岡県の文化の素晴らしさをより多くの方々に知っていただきたいと考えている。

当日プログラム

- ①贈呈式 18:00~18:30
 - ②記念イベント 18:30~20:00
 - ・坂口信男さん、坂口貴信さんによる能の実演
 - ・田中千智さんとのトークイベント
 - ・劇団ショーマンシップによるお芝居の披露(コーディネーター:大塚ムネトさん)
- ※入場料 無料(要入場整理券)

2023ふくおか県障がい児者美術展



会場 福岡県庁
九州芸文館
北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー
嘉麻市立織田廣喜美術館

開催日 令和5年11月7日(火)～17日(金)
令和5年11月21日(火)～26日(日)
令和5年12月5日(火)～10日(日)
令和5年12月13日(水)～17日(日)

事業概要

障がいのある方のさらなる作品制作意欲の向上を図り、県民に対して、障がいのある方が持っている多様な能力・才能に触れる機会を提供することを目的に、「2023ふくおか県障がい児者美術展」を開催した。美術展では、障がいのある方が制作した美術作品を募集し、審査により入賞作品及び佳作作品を決定。入賞作品については、「第31回ふくおか県民文化祭2023表彰式」で表彰した。

当日の状況

「絵画」「書道」「写真」の3部門で作品を募集し、県内各地から854点(絵画592点、書道187点、写真75点)のご応募をいただき、入賞15点、佳作89点を決定。応募のあった作品について、県内4カ所の文化施設等で分散して展示した(なお、入賞・佳作作品はすべての会場を巡回して展示した)。

クローバープラザにて表彰式を行い、各賞の入賞者に賞状と楯が贈られた。また、審査員と受賞者9名によるギャラリートークも開催した。

まとめ

作品の展示にあたり、制作者の作品への思いなどを記載したキャプションと、制作風景の写真をあわせて展示した。「すべての作品に情熱と意志の強さを感じ、感動した。」「多くの人にこの事業を知ってもらいたい。」などの感想をいただいた。

クローバープラザでは、表彰式のほか、審査員と作品制作者の対話形式でギャラリートークを開催し、多くの人が観覧した。入賞作品について、各部門の審査員から受賞理由等について解説、参加された受賞者から制作に当たって苦労した点や工夫した点が説明され、観覧者の方々により深く作品を楽しんでいただくことができた。

障がいのある方々が制作された作品に直接触れる機会を提供することで、障がいのある方の文化芸術活動に対する理解の促進に繋がっていききたい。

入賞者及び審査員一覧

《入賞者》
(一般の部)

【絵画】
福岡県知事賞 星先 こそえ
福岡県議会議長賞 藤原 祥真

【書道】
福岡県知事賞 佐野 優馬
福岡県議会議長賞 錦戸 甲人

【写真】
福岡県知事賞 眞田 雄
福岡県議会議長賞 井手 優大

(小・中学生の部)

【絵画】
福岡県知事賞 田光 哩庵
福岡県議会議長賞 大森 鈴央
福岡県教育委員会賞 日高 颯人
福岡県教育委員会賞 正木 愛莉

【書道】
福岡県知事賞 姫野 壽莉
福岡県議会議長賞 安池 柑奈
福岡県教育委員会賞 井川 泰珠

【写真】
福岡県知事賞 空閑 信次朗
福岡県議会議長賞 中溝 龍人

《審査員》

【絵画】宇美 拓哉、裏辻 信章、田中 康代
【書道】北村 久峰、久保 卓史
【写真】角 和典、シム・ウヒョン、藤 康宏

一般の部

福岡県知事賞



絵画 「ツチブタ(切り絵)」
星先 こずえ(大野城市)



書道 「仲間と共に目指すスポーツの頂点」
佐野 優馬(福岡市)

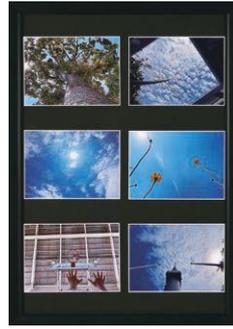


写真 「上を見上げて」
眞田 雄(朝倉市)

福岡県議会議長賞



絵画 「七福神の山笠」
藤原 祥真(大野城市)



書道 「いきる」
錦戸 甲人(粕屋町)



写真 「思い出の青春」
井手 優大(太宰府市)

小・中学生の部

福岡県知事賞



絵画 「ピラニア」 田光 哩庵(春日市)



写真 「大雨」 空閑 信次朗(久留米市)



書道 「光」 姫野 壽莉(福岡市)

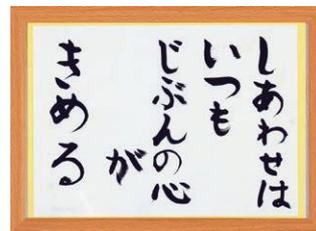
福岡県議会議長賞



絵画 「月」
大森 玲央(北九州市)



写真 「橋」
中溝 龍人
(太宰府市)



書道 「しあわせはいつも自分の心がきめる」
安池 柑奈(太宰府市)

福岡県教育委員会賞



絵画 「真剣な眼差し」 日高 颯人(行橋市)



絵画 「華の空鯨」 正木 愛莉(福岡市)



書道 「心」
井川 泰珠
(宗像市)

2023福岡県シニア美術展



豊富な経験に裏打ちされた多彩で個性あふれる作品を一堂に

会場 福岡県立美術館

開催日 令和5年10月7日(土)～10月15日(日)

事業概要

高齢者の創作による日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門の作品を広く募集して展示し、高齢者の文化活動、美術の普及振興を図るとともに、ふれあいと生きがいがつくりを推進する。

また「第36回全国健康福祉祭 鳥取大会美術展」の県代表作品の選考を行う。
主催／福岡県、ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会、公益社団法人福岡県美術協会
後援／社会福祉法人福岡県社会福祉協議会、公益社団法人福岡県老人クラブ連合会、福岡県教育委員会、福岡県文化団体連合会ほか

当日の状況

県内在住の60歳以上の方々から478点(日本画28点、洋画209点、彫刻9点、工芸35点、書86点、写真89点、デザイン22点)の出品をいただき、最優秀賞ほか各賞を決定した。今回は、全ての分野の作品を一堂にご覧いただけるよう、一期での展示を行った。また最終日には、作品批評会として審査員によ

るギャラリートークを行った。参加者は熱心に聴かれ、今後の制作活動の助言にされるとの声も多く聞かれた。

また会期中の入場者数は3031人を数えた。

まとめ

第26回を迎える当シニア美術展は、今回初めて県民文化祭事業として開催した。今日の高齢化社会において、本展の持つ意義はますます大きくなっている。ようやく社会の状況もコロナ禍から抜け出しつつあり、その中で通常の形でシニア美術展を開催することには大きな意味があると考えている。美術の表現の世界は、ときに楽しく、ときに厳しく、表現しようとする者、また見る者にも様々なことを示し、与え、そして求めてくる。真摯に向き合えば向き合うほど、それは人生そのもの

ではないかと感じている。

審査員(五十音順・敬称略)

- 【日本画】江藤 紀世、森田 秀樹
- 【洋画】宇田川 宣人、瀧井 利子、光行 洋子
- 【彫刻】世良 伸幸
- 【工芸】高司 晃、富永 久仁代
- 【書】師村 立卿、松崎 睦生、宮本 大嶋
- 【写真】西村 美代子、八尋 聡
- 【デザイン】垣外 波瑠香、吉本 暢子



2023福岡県シニア美術展出品目録



2023福岡県シニア美術展出品作品写真集

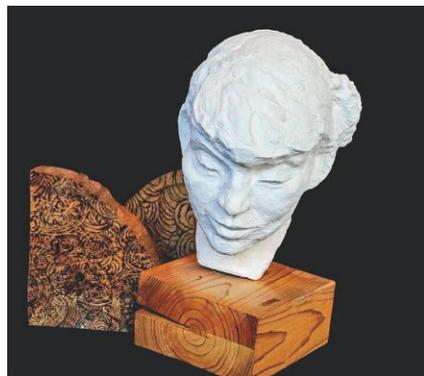
最優秀賞(福岡県知事賞)



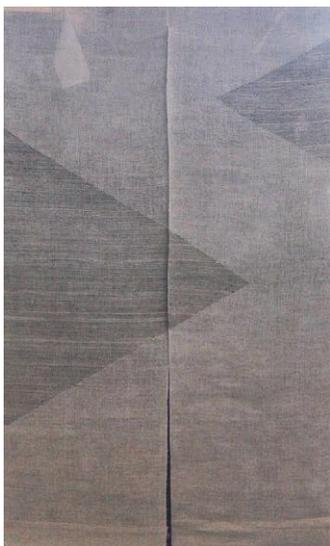
日本画部門「砂防ダム」筒井 忠基 (古賀市)



洋画部門「レオン」又丸 久 (福津市)



彫刻部門「堇」横大路 幸子 (南区)



工芸部門「暖簾」開田 絹枝 (東区)



写真部門「嫁ぐ日」久間 久幸 (みやま市)

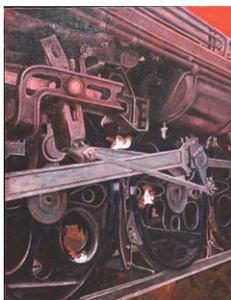


デザイン部門「大好物のオーケストラ」澗上 英子 (中央区)



書部門「古今和歌集の歌」宮崎 美登子 (大川市)

優秀賞(福岡県美術協会賞)



洋画部門
「もう帰えろう」
中村 幸江
(小倉南区)



彫刻部門
「風天のマルヤン」
石丸 健一
(中央区)



デザイン部門
「もっと向こうへ」
川島 篤三
(糸島市)



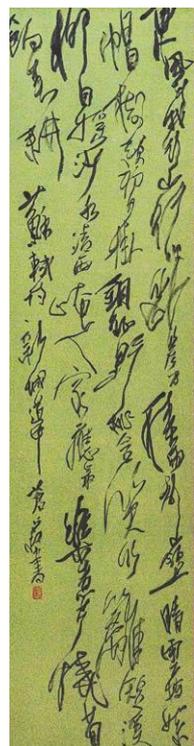
日本画部門「朝霧の只見線福島県」
武田 和子 (宮若市)



工芸部門「黒天目袖花器」
平野 利光 (太宰府市)



写真部門「廃船」伊藤 喜代太 (南区)



書部門「新城道中」
池田 孝子 (筑紫野市)

ツナガルアートフェスティバル FUKUOKA



障がいのある人もない人も一緒にアートを楽しむ

会場 久留米シティプラザ

開催日 令和6年2月24日(土)

事業概要

障がいのある人の表現やアート作品を見たり、一緒に作ったり、体験したりする交流の場として「ツナガルアートフェスティバルFUKUOKA」を開催。

ダンボール素材を自由に色付けしオリジナルの鳥を制作するイロトリ鳥ワークショップや、ぬり絵感覚で制作できる缶バッジづくりワークショップ、レーザーで壁に落書きをしたり、身の回りのものから音楽が生まれるデジタルアート体験、障がいのあるアーティストの絵画作品展示などを実施した。

当日の状況

当日は、地元の子どもたちや、近隣の放課後等デイサービスの団体等約1,250名の来場があり、会場は賑わいをみせた。クリエイティブラボ「anno lab」が実施するデジタルアート体験では、レーザーでお題に沿って自由な発想で落書きをしたり、断熱材や食器、ペットボトル等の身の回りのもので音を鳴らしたり、建築知育玩具KUMICA(クミカ)を使って自分だけの動物をつくったり、子どもから大

人まで夢中で遊ぶ姿が見られた。

ものづくりワークショップでは、自由に好きな色に塗って自分だけの鳥や缶バッジを作り、多くの人が家族や先生、友人と楽しんでいった。団体等の垣根を越えて、完成したものを見せ合い、喜ぶ様子も見られた。

他にも、障がいのある人の絵画作品を熱心に鑑賞する姿が見られた。

まとめ

今回のイベントは、障がいのある人たちと表現活動を行っている4団体(NPO法人まる、株式会社Like Lab、NPO法人らいふステージ、社会福祉法人筑後わかたけ福祉会)が実行委員会を組む、企画から運営までを担うことで、アートやものづくりなど様々な表現活動を発表・体験する機会を県民に提供することができた。

来年度も本イベントを開催し、障がいのある人とない人の新たなツナガりを生み出したい。

当日プログラム

- ものづくりワークショップ
 - ・イロトリ鳥ワークショップ
 - ・缶バッジワークショップ
- デジタルアート体験
 - ・レーザーで壁に落書きをする体験
 - ・作ったオブジェの影から何かが飛び出す体験
 - ・身の回りのもので音を鳴らす体験
- 作品展示
 - ・福岡県障がい者アートレンタル事業の登録作品の展示



ふくおか文化ボランティアフォーラム2023



デジタル化社会との上手なつき合い方～文化ボランティアの活性化に向けて～

会場 アクロス福岡 大会議室

開催日 令和5年12月7日(木)

事業概要

デジタル社会が進行するなかで、私たちの暮らしや地域はこれからどのように変わっていくのか、そして私たちは、デジタル社会と今後どう付き合っていけばよいのか。

ボランティア団体を代表するパネラーの発表を聞きながら、デジタル化の利便性や問題点など様々な視点からより良い付き合い方を探る。

当日の状況

高齢者が多いボランティア団体にもデジタル化の波は、容赦なく押し寄せる。当日の参加者からいただいたアンケートにも「出来ることなら避けて通りたい」想いが伺われた。

当日登壇した4人のパネラーからは、それぞれ自分の団体の活動紹介や問題点、さらにはデジタル技術に対する考え方や対応の難しさ等が述べられた。

パネルトークはファシリテーターを務められた横山氏の上手なリードで会場参加者の意見を入れながら和やかに進行することができた。

まとめ

講師から「デジタル化は目的ではなく、課題解決の一つの道具に」ということを忘れずに取り組むべきだと提起された。

さらに「デジタル社会との上手な対応」につながる第一歩は「まずスマートフォンを使いこなすこと」が大切だ、との提案に参加者はホッとした様子であった。

また、パネラーの一人から日頃の仕事を通じて得た想いが報告されたが、それは「デジタルが全てではない、情報発信にはアナログとも言える『人と心とのつながり』が一番大事だ」とする発言があったことを、ここに特記しておきたい。

当日プログラム

司会 船木 孝子氏

【ごあいさつ】

NPO法人文化ボランティアとびうめの会
代表理事 田中 正治氏

【第1部】

基調講演

テーマ

「デジタル社会は私たちに何をもたらすのか」

講師 (株)九州地域情報化研究所
代表取締役 横山 正人氏

【第2部】

パネルトーク

テーマ「デジタル社会との上手なつき合い方

／デジタル技術の上手な使い方」

ファシリテーター 横山 正人氏

パネラー

春日市奴国の丘歴史資料館

サポーター会 坂井 一富氏

弥栄神楽座 桑野 隆夫氏

宗像動画製作所 永島 匡人氏

NPO法人文化ボランティア

とびうめの会 新本 隆博氏

【まとめ&講評】

横山 正人氏

親子で楽しむこどもオペラ 3匹のこぶた



童謡からクラシック名曲まで親子で文化芸術を満喫

会場 久留米市城島総合文化センターインガットホール

開催日 令和5年11月18日(土)

事業概要

昨年度は地元地域の劇団に加えて小学2年生以上を対象に出演者を募集し創作劇を上演。幼少期からの文化芸術活動への参加意欲を喚起するため演技発表の場を提供した。

今年度は0歳児から入場できるこどもオペラを実施。久留米市地域では未就学児が入場できるコンサートが少ないため親子一緒にオペラ鑑賞を楽しむことで文化芸術への参加意欲の喚起を目指したものである。

当日の状況

会場となった久留米市城島総合文化センターインガットホールには、近隣の幼稚園、保育園の園児も入場するなど340名の来場があった。

子ども達も親しみやすい「トントントンひげじいさん」や「こぶたぬきつねこ」などの童謡や手遊び歌、クラシックの名曲まで盛りだくさんの参加型コンサートとなった。出演者が観客を巻き込む演出などを行うことにより、普段ホールなどで文化芸術に触れる機会の少ない子どもたちも出演者と一緒に拍手や

体を動かすなど親子一緒になって目で見て体で感じて一緒に楽しんでいる様子だった。

まとめ

今回の公演では、小さな子どもだけでなく親子あるいは三世代で楽しむ姿など幅広い年代の方に楽しんでいただくことができた。アンケートでは、幼児も参加できるコンサートをたくさん企画していただきたい、小さな子どもから入場できて親子一緒に楽しめることができ大変よかった等の意見が多数寄せられた。このようなことから、幼少期から文化芸術に触れ、親しみを持てる機会を継続的に提供していけるよう様々な企画を実施していきたい。



当日プログラム

こどもオペラ『3匹のこぶた』の上演

【開場時間】13:15

【開演時間】14:00

【入場料】全席指定

一般 1,000円

中学生以下 500円



コミカル・クラウン・サーカス



わくわく、ドキドキ、笑いがいっぱい!!道化師たちによる楽しいステージ♪

会場 桂川町住民センター 大ホール

開催日 令和5年11月26日(日)

事業概要

「コミカル・クラウン・サーカス」を迎え楽しいステージを開催。幅広い年齢層に楽しめる内容で住民の皆さんに文化芸術を鑑賞・参加する機会を提供することで、「文化の薫り高い心豊かな町づくり」の実現を目指す。

当日の状況

世界の大会で輝かしい成績を残したクラウンもいる「コミカル・クラウン・サーカス」は、日本で唯一の道化師たちのステージ。ジャグリング・バントマイム・マジックのほか、客席に風船が飛び交う観客参加のパフォーマンスもあり、会場が一体となって楽しめるショーとなった。



まとめ

多くの来場者から「楽しかった」という声が聞こえ、公演終了後もクラウンたちと握手や記念撮影を行い、全体的に満足いただけました事業内容になった。

今後も、子どもも大人も一緒に楽しめる文化芸術鑑賞の機会を広く提供し、「文化の薫り高い心豊かな町づくり」の実現に向けて取り組んでいきたい。



当日プログラム

開場時間 13:30

開演時間 14:00

入場料 大人600円、
子ども200円(中学生以下)



第26回ジュニアときめき文化祭



子どもたちによる、子どもたちのための、子どもたちの文化祭

会場 大野城まどかぴあ 大ホール・多目的ホール

開催日 令和5年12月16日(土)・17日(日)

事業概要

福岡県の文化の振興・発展を担う子どもたちの文化祭として、書道・絵画・造形美術などの文芸美術展と舞踊・ダンス・バレエ・バトン・空手演武等の舞台芸術のステージなど幅広いジャンルの文化活動に励む子どもたちの発表の場として開催した。

当日の状況

舞台芸術の部は平野中学校放送部による司会で、27団体581名の出演者がダンス、舞踊、バレエ、バトン、新体操、空手演武などの演目を披露した。午前と午後の最後にはミドルパフォーマンス、ファイナルパフォーマンスを行った。

文芸美術の部は9団体173点の作品の展示を行った。小学生の合作で作成されたタペストリーや、珍しい糸かけアートの作品、色鮮やかな絵画、のびのびと自由な文字や達筆な書も多数あり来場者の心をひきつけた。

まとめ

今年度は舞台芸術の部の来場者の観覧ブロック入れ替え制をなくし、4年ぶりに通常開催した。コロナの制限がなくなったことでステージ上に出演者が一同に上げられるようになり、大野城市のマスコットキャラクター大野ジョーくんと共にミドルパフォーマンス、ファイナルパフォーマンスでステージを盛り上げた。

文芸美術の部は昨年に続き会場にメッセージカードコーナーを設置し、舞台、文芸の両会場に足を運んでいただけた。

来場者アンケートでは、「子ども達の一生懸命な姿がよかった」「子どもが大きくなったら参加させたい」などの意見をいただいた。多くの方が子どもたちの発表の場として楽しんでくれるこのイベントを今後も末永く継続し、地域文化振興の一翼を担っていきたい。



当日プログラム

- ◆文芸美術の部:
12月16、17日 10:00~16:00
- ◆舞台芸術の部:
12月17日 開場 9:30 開演10:00

文芸美術の部
宗野教室・福岡書芸院・松澤造形教室・習研書道教室・日本習字(瓦田公民館瑞穂集会所)・大野小前下田習字教室(日本習字)・大利小学校書道クラブ・大野小学校(ランドセルクラブ)・大城小学校(ランドセルクラブ)

舞台芸術の部
KBM DANCE・Tornados International・E&S CHEERS キッズ・JSD・INSPIRE・Naoko Ballet・ラプリーエンジェル・PL福岡第一・MBA・GOLDEN☆KIDS・アニモ新体操クラブ・キャンディボックス・ピクシー・オーレ・Fuzzy Lop・さおりバレエスタジオ・Ami DANCE STUDIO・ゆりこバレエスタジオ・Jステップダンス・後藤会・DANCE STUDIO DOPE・Shiny☆Girl・J.Beans・沖縄伝統空手道少林流聖武館・D-VISION Kid's・ジュニア・リズム・バトン・フレンズ・Lokelani大野城・ARAMAKIバレエスタジオ・暁聖流暁聖会

大濠公園能楽堂子ども能楽教室



子どもたちが能楽を通じて伝統文化を体感

会場 大濠公園能楽堂

開催日 令和5年12月26日(火)~28日(木)

事業概要

小中学生が日本固有の伝統文化である能楽を体験することで日本文化を正しく理解してもらうことを目的として企画。3日間と短期間ではあるが、能楽師による直接指導のもと、子どもたちの自主性・協調性の育成をうながした。

最終日には発表の場を設け、能舞台上で保護者をはじめ一般市民に稽古の成果を披露した。

当日の状況

正座や挨拶など基本的な礼儀作法からはじめ、初歩的な謡と仕舞に挑戦した。

初めての体験に戸惑いもあったが、年長者が中心になり休憩時間に自主練習をするなど積極性を見せた。

最終日にはご家族に稽古の成果を披露したが、短い期間にもかかわらず目を見張るほどの成長ぶりに驚き、目を潤ませる方もおられた。

一方、子どもたちは晴れやかな舞台上に立つという貴重な経験を経て、自信に満ちた表情で能楽堂を後にしていった。

まとめ

小中学生が能楽を体験することで、日本文化を正しく理解してもらうことを目的として15回目の開催となる。初めての能楽体験は家庭内や冬休み明けの学校生活でも話題になると思われ、県民の文化資産である能楽堂の認知向上にもつながった。



当日プログラム

12月26日

顔合わせ(講師紹介)と事前説明(楽屋)
正座、扇の使い方などの所作、お謡の指導

12月27日

2組に分かれ、舞の指導(舞台)

12月28日

舞台上でのリハーサル、午後から発表会



芸術体験講座



福岡市能楽協議会

ミュージックコンサート

真の芸術文化のすばらしさを多くの児童・生徒たちへ

会場 県内小中学校及び特別支援学校 12校

事業の目的

この事業は、平成17年度から始まった事業で、県内の小学校、中学校、特別支援学校に、プロの芸術家や伝統文化の継承者等(以下、芸術団体)を派遣して、学校教育活動の中で様々な芸術文化を体験することで、芸術文化の楽しさや素晴らしさを知る機会の充実を図り、児童生徒の豊かな人間性と多様な個性を育むことを目的としている。

事業の内容

- 実施機関
福岡県文化団体連合会(事務局)に「令和5年度芸術体験講座実行委員会」を設置。(実行委員会は平成25年から設置)
- 芸術体験講座の実施時間等
 - ・時間
1学校あたり90分(学校の授業単位2時間相当)
 - ・会場
学校施設(体育館、講堂、多目的ホール等)
- 事業実施の留意点
 - ・講座実施希望校調査の実施と実施校選定

- ・芸術団体と学校間の講座内容の確認
- ・講座実施当日の連絡調整と事業実施(結果)報告書の提出

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に対応した講座

- 本年度の開催にあたっては、令和5年5月8日文部科学省発出の「5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策」について(通知)を基本とした学校のガイドラインを基に実施することを決定した。
- 説明会では、文部科学省のガイドラインのほかに、8項目にわたる注意点を配布し、学校、芸術団体ともに、各講座毎に開設に至る迄の連携を密にして、安心して実施できる環境を整え、適切に対応できない場合は、講座を実施しないことを確認した。

芸術体験講座を終えて

- ・学校からの報告書や児童生徒の感想文に加

- えて、5年度から芸術団体からも報告書(学校の対応、講座内容等)を提出してもらった。報告書、感想文からは概ね児童・生徒達が芸術体験活動を通して芸術の素晴らしさ、楽しさ、面白さ等を学んだことが書かれており、芸術に対して興味や関心が高まり、感動を与えたと思われる。
- ・芸術団体と一緒に活動することで、日常生徒が学校内で取り組んでいる活動とは一味違う充実した講座となった。
- ・小規模・少人数の学校では、学校独自で民間の芸術団体等を招聘することは、予算的にも厳しく、次年度も芸術体験講座を希望したいなど、本講座の開催を喜ばれた。
- ・学校からの要望に充分応えた講座内容で充実していたが、惜まれるのは、子どもが広範囲に動く場合、マイクを使用した方が、指示が通りやすいと思われる場面があった。また、講座90分の中で、時間配分を工夫したら更に充実した芸術体験講座の目的が達成されられると思われる講座もあった。



福岡ホルンアンサンブル



和楽団ジャパンマーベラス



子どもに能楽を勧める会



ふれあいコンサート実行委員会

実施校数	
1 平成17年度	34校
2 平成18年度	32校
3 平成19年度	26校
4 平成20年度	30校
5 平成21年度	31校
6 平成22年度	27校
7 平成23年度	28校
8 平成24年度	30校
9 平成25年度	30校
10 平成26年度	29校
11 平成27年度	30校
12 平成28年度	30校
13 平成29年度	20校
14 平成30年度	20校
15 令和元年度	20校
16 令和2年度	17校 <small>※3校中止</small>
17 令和3年度	19校 <small>※1校中止</small>
18 令和4年度	20校
19 令和5年度	12校

合計 485校

第31回ふくおか県民文化祭2023「芸術体験講座」実施校一覧

市町村名	学校名	対象学年	受講人数	芸術団体名	講座名
北九州市	貫小	6	76	福岡市能楽協議会	伝統芸能
福岡市	箱崎小	3・4	205	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
	板付北小	3・5・6	162	ミュージック コンソート	音楽
	堤丘小	6	35	Office トゥールース	総合芸術
久留米市	大橋小	5・6	28	山崎北山・宮本直美	伝統芸能
直方市	中泉小	1・2	15	劇団さんぼ	演劇
	直方南小	全	96	子どもに能楽を勧める会	伝統芸能
八女市	星野中	全	31	プレイ集団・You遊	演劇
鞍手町	新延小	5・6	34	福岡ホルンアンサンブル	音楽
大刀洗町	大堰小	5・6	22	ミュージック コンソート	音楽
県立	築城特別支援	小1～高3	220	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
	小郡特別支援	高等部1～3	72	九州打楽器合奏団	音楽

総受講生996名(内訳:小学校673名 中学校31名 特別支援学校292名)

派遣者71名(内訳:芸術団体51名 実行委員20名)

合計 1,067名

芸術団体からの感想(抜粋)

○緊張した面持ちで「何が始まるのだろう」という空気感からスタートした演劇体験講座でしたが、次第に心身もほぐれ、等身大の普段の皆さんで表現活動に取り組んでくれたように感じました。日常的に馴染みのない「演劇」という世界は実は普段の生活に溢れているものだと体感していただけたように思います。私たちが生徒の皆さんから沢山の発見をいただきながらの授業展開となり先生方も含め「皆さんと一緒に作り上げた講座」になりました。
(プレイ集団・You遊)

○体験講座はエアーの全身体験にいたしました。特に、囃子の楽器体験は日頃触れられない能の楽器の難しさ、間を理解し楽しく体験いたしました。最後に舞囃子「船弁慶」に参加したことは良い体験にされたようです。校長先生始め教頭先生、担任の先生も含め学校全体で、熱心に誠意を持って取り組んでいただきました。当日は案内、体育館の清掃も丁寧にさせていただきました。能楽の普及のため今後も楽しく、分かりやすい教室を開催していきます。
(福岡市能楽協議会)

○児童の皆さんの聴く態度が素晴らしく通常のプログラムよりマジックを多く教えることができて良かったです。マジックを練習する姿も真剣でとても素晴らしかったです。最後の児童さんの感想も「マジックに対しての先入観を取り払うことができ、マジックの楽しさや不思議さを学びお家に帰ってお母さんに見せたいです。」「兄弟姉妹に見せたいです。」等嬉しい感想が聞けて幸せな気持ちになりました。マジックをきっかけに家庭での会話が増え温かい家庭作りのお手伝いできればと願っています。このような素晴らしい機会を作っていただき誠に有り難うございます。これからも一人でも多くの児童の皆さんに笑顔を届けたいと思います。
(Officeトルース)

○当日は8時半過ぎから体育館でリハーサルを行いました。大型ストープが設置してあり、寒さは感じませんでした。開式の挨拶で教頭先生が「私もホルンだけのアンサンブルは聞いたことがないので楽しみです」と言われ、児童の興味が増したように思いました。演奏曲目にクラシック音楽だけでなく、アニメの曲や、小学校で学んでいる鍵盤ハーモニカやリコーダーも使ったので授業での音との違いを感じた様子でした。アルプホルンの体験では講師の指導を受けながら喜んで活動していました。
(福岡ホルンアンサンブル)

学校からの感想(抜粋)

○普段、なかなか体験することができない貴重な場をいただきました。子どもたちは、プロの声楽家、ピアニスト、チェリストの方々の演奏に聞き惚れていました。音楽の授業で聴くCDでの音との音圧の差に圧倒され、驚いた表情を浮かべる子もいました。その上演を聴かせていただくだけではなく、本校の校歌の指導までしていただけて、子どもたちも普段の自分たちの声の違いを感じ、嬉しそうでした。お暑いく中、空調も無い音響の悪い体育館でしていただいて、申し訳なかったです。
(大刀洗町立大堰小学校・ミュージック コンソート)

○子どもにとって親しみやすい活動で、楽しく参加することができていた。講師の先生がずっと笑顔で「だめ」な答えは無いと声かけをしていただいていたので、安心して自分を表現することができていた。初めは参加していなかった子どもも、最後の「エア大縄飛び」では、皆と一緒に創ることを楽しむことができていたので、子どもたちにとって良い経験となっていた。
(直方市立中泉小学校・劇団さんぽ)

○素朴でおとなしい生徒が多く自分から表現することが苦手であるが、今回の芸術体験講座では、普段と違う生徒の生き生きと表現する様子が見られて、とても良かった。うちの学校の生徒にとって良い体験だったので、機会があればまた体験させたい。
(八女市立星野中学校・プレイ集団・You遊)

○プロの方々の本物の演奏に触れて、貴重な経験をすることができました。演奏だけでなく、クイズを交えて楽しく楽器を紹介してくれたり、児童の演奏体験を通して会場が一体となって演奏をしたりと、あっという間の楽しい時間を過ごすことができました。
(福岡市立箱崎小学校・和楽団ジャパンマーベラス)

○日本の楽器(尺八や箏)を生で見たり演奏を聴いたりする機会はそうそうありません。しかも、今回は体験もさせていただけるということで申し込みました。楽器を間近で見たり、聴いたり触らせていただいたりしたことで、興味関心が高まったようでした。給食の時間に流れる音楽を聞き、「昨日聞いた箏の音に似ている」と言っていました。子どもの中に「私たちの身近な所に音楽があり、生活や心を豊にしてくれる」という実感が生まれたのではないかと思います。(久留米市立大橋小学校・山崎北山、宮本直美)

○間近で聴いたプロの演奏は素晴らしく、生徒と教師一緒に非常に盛り上がりました。生徒たちが日頃親しんでいる楽器の様々な鳴らし方や音色の違いなどをレクチャーしていただき、生徒たちが食い入るように聴いていたのがとても印象的でした。普段おとなしい生徒が音楽に乗って両腕を大きく上下させながらノリノリで楽器を叩くなど、今までに見たことのない生徒たちの新たな姿を引き出してくれました。音楽の力ってすごいなと改めて感じました。
(県立小郡特別支援学校・九州打楽器合奏団)

子どもからの感想(抜粋)

○今日、能の体験をさせてもらいました。小鼓、大鼓は馬の皮、太鼓は牛の皮でそれぞれ違う皮を使っていることを初めて知りました。そして、最後の仕舞「八鳥」が、とても迫力がありました。息が揃っていたのですごかったです。能は、もっと遅い動きかと思っていたけど、意外に速い動きだったので驚きました。この、仕舞は、最後のめでたく終わるという意味も初めて知りました。他にも、ひな人形の五人囃子や相撲は能からきていると聞いて驚きました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
(直方市立直方南小学校・子どもに能楽を勧める会)

○タイプライターの演奏が面白かった。楽器の音の大きさにびっくりしたけど、手拍子したり歌ったりして、楽しかった。知っている曲を生演奏で聴いてとても感動した。自分でもコンサートに行ってみたい。
(県立築城特別支援学校・ふれあいコンサート実行委員会)

○能のかけ声とリズムがあっていて、とても演奏がかっこ良かったです。また、せりふの言い方が難しかったです。能楽師の方が、間近まで来て演技をしてくださったので、とても迫力がありました。観るのが楽しかったので、もう一度観てみたいと思いました。
(北九州市立貫小学校・福岡市能楽協議会)

○とても和音がきれいで、リズムがとてもよくて、耳に残るくらい美しい演奏でした。楽器で長い笛と牛の角がすごかったです。ドラムがすごくかっこよかったです。下からどんどん聞こえてきました。4人とも皆同じ高さや低さの音を出せるのがすごかったです。アルプホルンを吹くとき、音を変えたいときは、口笛を吹くようにすればよいことが分かりました。ホルンには長い歴史があることが分かりました。
(鞍手町立新延小学校・福岡ホルンアンサンブル)

○卒業式に向けて練習している曲を講師の先生に教えていただき、よりよい声の出し方が分かった。自分たちの声が変わったことが分かって嬉しくなった。教えてもらったことを卒業式でも活かしたいと思いました。
(福岡市立板付北小学校・ミュージック コンソート)

○今日はとても面白く楽しいマジックを披露していただき本当に有り難うございます。マジックだけでなく言葉でも人々を楽しませることができてすごいなと思いました。今日テバツタさんが行ったマジックの中で特にすごいなと思ったのは、紙袋の中からふくらんだ風船が出てくるのがすごいなと思いました。もらったマジック道具で家族にマジックをすると、とても驚いていました。もっと色々なマジックをしてみたいと思いました。(福岡市立堤丘小学校・Officeトルース)

芸術体験講座をしていただいた芸術団体/個人の皆様



Office トウルース



プレイ集団・You遊



九州打楽器合奏団



山崎北山・宮本直美



ミュージック コンソート



劇団さんぼ

芸術体験講座(事業のご案内)

- *福岡県下の小学校・中学校・特別支援学校に「芸術団体・個人」を派遣します(「芸術団体・個人」は事前の登録が必要となります)。
- *芸術団体・個人の分野は、「伝統芸能(能、琴、尺八など)」、「音楽(ピアノ、ヴァイオリン、ホルンなど)」、「ダンス」など。学校への希望調査をもとに、派遣校を決定します。
- *細かなお手伝いは、芸術体験講座実行委員会が行います。
- *実施に要する報酬(謝金)、交通費(旅費)は、福岡県文化団体連合会が負担します。
- *詳しい情報は、福岡県文化団体連合会のホームページ(<https://www.fukuokakakenbunren.jp/>)をご覧ください。

アクロス・クラシックふえすた2023



聴く・触れる・参加する!コンサートや楽器を楽しむ2日間!

会場 アクロス福岡

開催日 令和5年10月7日(土)・10月8日(日)



©椎原一久

事業概要

地元の音楽団体・音楽関連業者・自治体と共同「アクロス・クラシックふえすた」を実施した。コンサートに足を運んだことがない、楽器に興味があるが触れる機会がない、楽器に関する全国の情報が入手できないなど、音楽に関する要望は様々である。本事業は、音楽愛好家はもちろん、一般の方々からの多様なニーズに応え、福岡県民、さらには九州の音楽文化の裾野をより広げることで幅広い多くの観客の創造へ繋げることを目的としている。

当日の状況

メインの有料コンサートである「九州交響楽団シンフォニック・ポップ」、「ヤマハ吹奏楽団」がそれぞれ完売。来場者の呼び水の役割を果たし、両日とも来場者が大きく伸びた。特に「ヤマハ吹奏楽団」へ来場した客層は、管楽器愛好家や吹奏楽部の学生などが多く、楽器展示会場は大きな賑わいを生んだ。

無料のコンサートも円形ホール、イベントホール、交流ギャラリーにて全30回実施。できるかぎり、多くの時間帯で絶えず演奏が聴

ける機会を提供した。

その他、「バックステージツアー」や「ヴァイオリン体験レッスン」等の参加型企画を実施したほか、管楽器の製作工程を展示と実演で紹介するコーナーを楽器店の協力で実施するなど、新しい企画も好評を得た。

まとめ

感染症対策による入場制限無しで開催。(消毒、換気の推奨、対面でのマスク着用推奨程度)コンサートも入場制限無く実施し、どの会場も満席に近い来場者を集めた。子ども向け企画では「九州交響楽団シンフォニック・ポップ」や、円形ホールの無料コンサート「音楽紙芝居」などが盛況であった。しかし、授乳室やおむつ交換スペースが少なく、特にシンフォニーホールには設置がなかったため、利用者に不便をおかけした。今後の課題として、設置場所を検討したい。

運営面では、経験豊富なスタッフのもと、安心・安全に事業を実施することができた。

当日プログラム

【楽器ふえすた】

- 10月7日(土) 10月8日(日)
弦・木管・金管楽器・音楽ソフトブース等、計18社が出展。
展示即売会・楽器クリニック・弦楽器健康診断コーナー・音楽大学案内コーナー(2大学)などパフォーマンスライブ(無料)15回実施(会場:イベントホール、交流ギャラリー)
みんなの演奏会(アマチュア等の発表機会提供)計7回実施(会場:交流ギャラリー)

【有料コンサート】(会場:福岡シンフォニーホール)

- 10月7日(土) 14:00
九州交響楽団シンフォニック・ポップ
- 10月8日(日) 13:00
ヤマハ吹奏楽団

【フレンドリーコンサート】(会場:円形ホール)

- 10月7日(土)・8日(日) 終日
無料ミニコンサート 計8公演開催

【参加型企画】

- ・ヴァイオリン体験レッスン(2回)、楽器クリニック(4回)、バックステージツアー(3回)
ヴァイオリンアンサンブル講座(1回)

【展示】

- ・楽器のみみつ(パネル展)
- ・管楽器の製作工程の展示と実演 ほか

水都 (suito) 柳川能



- ①日本の伝統芸能「能楽(能・狂言)」への理解を深め、鑑賞態度を涵養する取り組みを進める。
- ②日本の「能楽」を後続世代に伝えて行く。

会場 柳川市民文化会館「白秋ホール」

開催日 令和5年10月22日(日)

事業概要

能楽(能・狂言)は650年以上の歴史を持つ日本の伝統芸能であり、2008年にユネスコの世界無形文化遺産に登録された。柳川地域において、かつては結婚式や棟上げ式などで祝儀の謡が謡われる伝統があり、地域に謡曲が根付いていた。小中学校の教科書などで能楽が紹介されるようになったが、伝統文化としての能楽がより子供や学生に身近なものになるような取り組みを進めていく。

当日の状況

ほぼ満席で当日を迎えることが出来た。学生席に関しては当日の学内行事(オープンキャンパス、課外活動などで几分キャンセルが出たが、小中高関係者(父兄、教師など)にキャンセル分招待席を設け鑑賞してもらうことが出来て良かった。

昨年の第一回柳川能は台風による開催日の変更があったが、今年は晴天に恵まれ、当日、白秋ホール隣のイベントホールで同時刻開始のギターコンサートもあり入場時の混雑が予想されたが、ボランティアがうまく誘導

し、大きな混乱はなかった。会場案内も昨年同様実行委員とボランティアスタッフの協力で無事スムーズに運ぶことが出来た。

まとめ

実行委員各員のポスター、チラシ配布、また様々な知人友人を通じてのチケット販売が公演成功の大きな力となった。前日の能舞台設営・公演終了後の後片付けなどにボランティアも加わってくれてはかどった。

アンケート(383件回収)では90%が良かったと回答、また毎年観たい(62%)2~3年おきに観たい(36%)と、また観たいという回答が全体を占めた。

当日は大、小ホールと同時刻に二つの公演があったため、駐車場の誘導で特に高齢者・身障者用の駐車スペースの拡大確保が今後の課題としてあり、その対策を考える。

アンケートについて今後は特に小中高生への呼びかけを会場アナウンスなどにも入れていきたい。

当日プログラム

- ①解説 狩野祐一
- ②舞囃子「胡蝶」
(金春流)立花笙子
(地謡)櫻間右陣 東 軍三
北山晴彦 名和長承
- ③狂言 「附子(ぶす)」
シテ野村万禄 アト吉住 講
小アト杉山俊弘 後見吉良博靖
- ④能 「羽衣」
(喜多流)シテ狩野一
ワキ飯富雅介 ワキツレ岡 充
(囃子)笛 浦 政徳 小鼓古田寛二郎
太鼓白坂信行 太鼓田中 達
(後見)中村邦生 大島衣恵
(地謡)金子敬一郎 内田成信 粟谷充雄
大島輝久 塩津圭介 狩野祐一
井上勝晴 北原浩吉



BUZEN ENERGY 2023 ~未来へ~



原点への回帰～豊前の文化創造への挑戦～

会場 豊前市立多目的文化交流センター

開催日 令和5年11月19日(日)

事業概要

豊前市内で活動する3つの団体によるコラボステージ。Jazzのビッグバンドである「ニュースウィングジャズオーケストラ」、地域での様々なイベントに彩を添える和太鼓集団「豊前天狗太鼓」、伝統の豊前神楽を継承する若手の神楽舞が新たな挑戦を続ける豊前神楽集団「若楽」による創作ステージ。

当日の状況

当日の来場者は約550名。市外からも多くの観客が訪れ、好評のうちに終えることができた。

「BUZEN ENERGY 2023～未来へ～」と題し、豊前市内で活躍する3団体が各々の表現方法、あるいは2～3団体がコラボレーションして、豊前の持つ地域文化の新たな魅力の創造に努めた。

県内外から訪れた多くの人々を迫力のある演出で魅了した舞台は、会場全体が熱気に包まれたままフィナーレを迎えた。

まとめ

豊前市では地域で活動する様々な文化団体を支援することで、芸術文化の裾野を広げ、ひいては地域文化の醸成と高揚に資するべく、様々な取組を行っている。

今回の県民文化祭の実施もその一環であり、(一社)豊前市芸術文化振興協会をはじめとした関係団体による実行委員会での取組は、地域住民に大きな感動を与え、豊前から県民文化を発信する良い機会となったと思う。



当日プログラム

- ◆開場時間 13時30分
- ◆公演時間 14時00分 ~ 16時00分
- ◆入場料
 - 前売り 高校生以下1,000円
一般2,000円
 - 当日 高校生以下1,200円
一般2,500円

◆演目

Opening 「鬼切安綱」

第1部 天狗の里 Music Session
豊前天狗太鼓

「一閃」、「春風」、「鬼」、「彩」
ニュースウィングジャズオーケストラ
「有名バンドテーマメドレー」、
「ザ・ビーナッツヒットメドレー」
「ルバン三世のテーマ」、「ザ・カムイ」

第2部 「邪降神」

豊前神楽集団「若楽」、
ニュースウィングジャズオーケストラ、
豊前天狗太鼓

Final,

福岡県大学園祭2023



福岡の若者の情熱を全国に!!

会場 福岡県営天神中央公園

開催日 令和5年9月30日(土)～令和5年10月1日(日)

事業概要

このフェスティバルは、県内の学生におけるダンス&音楽を中心に、発表の場を持ちたい若者の情熱の発表の場所である。このフェスティバルを開催する理由は、若者がクリエイティブに自己表現する場を増やす事こそ、次世代の社会に必要なと考えているからだ。またコロナ禍で活動自粛を行っていた若者が、自主的・主体的に活躍・発表できる機会を増やしていく事こそ、次世代の社会にとって必要だと考え、このフェスティバルを開催した。

当日の状況

2日間の開催期間中、多少の小雨は降ったが天候に恵まれ来場者も2日間で5000人を達成することができた。小・中・高・大学生の若者が集まりステージ上ではダンス部や軽音楽部等のパフォーマンスも開催することができて大成功を収めた。また大学生や地元の企業さんによる模擬店も好評で来場者の方には満足頂けたと思う。若者の元気を応援するイベントとして主催者も大いに満足する結果となった。

まとめ

コロナ禍の3年間は、学校で学園祭が開催できず、特に大学生は学園祭の企画すらわからない状態があった。このイベントを介して主となる11月の学園祭も成功できたと聞いている。本当に有意義なイベントが開催できたと感じた。



当日プログラム

学生×企業ディスカッション・福岡県内小中高・専門学生ダンスチームパフォーマンス・College Contest(カレッジコンテスト福岡)・学生中心のライブパフォーマンス・大学軽音楽部演奏・企業PR・学園祭PR等



道雪会第7回文化講演会



「立花宗茂と閻千代」NHKの大河ドラマ実現に向けて

会場 福岡工業大学FITアリーナ 開催日 令和5年10月8日(日)

事業概要

開会セレモニー

加来耕三氏の講演と福岡工業大学附属城東高等学校吹奏楽部演奏(演題「立花宗茂と閻千代」～二人の父との関わり～)

実父高橋紹運は文武に通じ、徳知の人。情深く私欲なく古今稀なる議に生きた人。養父戸次道雪は立花山城の城主として義に厚く負け知らずの武勇の人。この2人の父から宗茂は如何なる薫陶を受けたかを語る。全国大会でも優秀な成績を納めている城東高校プラスバンド演奏の部では、「徳川家康」「上を向いて歩こう」参加者がよく知る曲を含め66名の部員での演奏を行う。

当日の状況

講演会当日は小雨がばらつき好天気ではなかったが、参加者も予想以上に多かった。会場はJR九州福工大前駅より歩いて3分(150メートル)の距離にあり、交通の便の良いところがあり、参加者が集まった1つの要素であったと思われる。

まとめ

加来耕三氏の時代を大局的な見地からの講演であり、立花宗茂の誠実さと愚直なまでの生き方と復活にかけた情熱こそ現代に求められる生き方ではないだろうかとの結論であった。又、城東高校演奏の部では大変な拍手、盛り上がりであり、音楽の素晴らしさに酔い痴れた。

当日プログラム

【開会セレモニー】司会 山鹿慎介
午後2時

開会の辞 道雪会副会長 富永仁
来賓挨拶

福岡県知事 服部誠太郎殿代理
福岡県企画・地域振興部部長 中島徹也殿
福岡工業大学学長 村山理一殿
「立花宗茂と閻千代」NHK大河ドラマ
招致委員会会長 柳川市長 金子健次殿
首長挨拶 古賀市長 田辺一城殿
新宮町長 桐島光昭殿
久山町長 西村勝殿
道雪会県会議員紹介

祝電披露

【第1部講演】

午後2時15分 加来耕三氏 講演
午後3時40分 謝辞 道雪会副会長 稲富芳彦
午後3時43分 事務局よりの連絡
事務局長 横矢繁光

【第2部吹奏楽部演奏】

午後4時
福岡工業大学附属城東高等学校長挨拶
佐伯道彦殿
午後4時05分
福岡工業大学附属
城東高等学校吹奏楽部 演奏
午後5時
お礼の言葉 道雪会会長 杉尾民則
閉会の辞
道雪会幹事長・サン福岡会長 河野 好宏

能古島国際映画祭2023

～ショートショートフィルムフェスティバル&アジア25周年記念～



能古島、君の映画が祭りの主役

会場 のこのしまアイランドパーク

開催日 令和5年10月22日(日)

事業概要

「能古島の活性化」「自然との共生」をテーマとしたショート動画撮影を通し、地域活性化と映像文化の発信、映像作家の育成を図った。

「大川」「八女」「筑後」など県内各地で行われている映画祭の一括オープニングセレモニーとして開催し、県内市町村の関わりを通して地域内交流を行った。

「ご当地ヒーロードゲンジャーズショー」「子ども新体操」「地元の能古和太鼓」など多彩なジャンルの文化の融合を展開した。

留学生を招き民族衣装のファッションショーを行い各国の伝統文化を披露した。

当日の状況

今年はショートショートフィルムフェスティバル25周年記念事業として、県下一括でオープニングセレモニーを行った。地元の新体操チームがオープニングで舞うことや、新体操をテーマとした短編映画が上映されることに興味を持たれた新体操フェアリージャパン監督を務めた山崎浩子さんをゲストとしてお招きした。セレモニーのプログラムには一般・学生から募集した短編映画の表彰式もを行い、若手クリエイターの意欲に繋がるよう5つの賞を準備した。(福岡商工会議所賞、ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会会長賞、特別賞:このしまアイランドパーク賞、能古島国際映画祭実行委員会審査委員長賞、能古島観光PR大使賞3作品) 関連イベントでは多彩なジャンルのパフォーマンスだけでなく、吉本興業のプロの芸人さんより事前に講義を受けた選ばれた挑戦者達が「NOKO-1 グランプリ大会」に出場するなど、会場を盛り上げてくれた。出店ブースも賑わい、国際交流に繋がる「民族衣装のファッションショー」「日

本の古着を再利用した御朱印帳づくり」「お抹茶体験」が思ひ出通りの各会場で実施され「アイランドパーク探検」なども行われた。会場の入り口の外では白バイ、パトカー、消防車の展示もあり記念撮影が盛んに行われていた。思い出に残るシーンを各会場で実施することができた。

まとめ

初回の前回は「コロナ禍、子ども達の失われた時間と笑顔を取り戻すために」というスローガンで2DAYSでスタートさせた映画祭だったが、今回は1DAYだったにも関わらず、前回と変わらない人数が集まり子ども達からあふれる笑顔が周囲を明るく照らしていたようだ。会場には西南学院高校のボランティアの学生も多数参加しており、留学生や出演者と交流する場面が見られ大変、有意義な時間となった。福岡で映像文化を途絶えさせないようにと30年続いたアジアフォーカス・福岡国際映画祭に代わる役目と共に福岡の恒例イベントとなり、人々に愛され、求められ、参加する人々の自己実現の場として今後も映像文化、芸術文化、クリエイティブ産業の発展に寄与したい。

当日プログラム

1. 県下一括オープニングセレモニー
 - ・ 風の舞(新体操)
 - ・ 主催者挨拶
このしまアイランドパーク
久保田晋平(実行委員長)
 - ・ 一般、学生映画表彰式
表彰状授与者 福岡商工会議所
会頭 谷川浩道代理
 - ・ ゲスト紹介

フェアリージャパン前監督 山崎浩子さん
・ 副会長挨拶

(一社)地域企業連合会
九州連携機構 代表 小早川 明徳

2. 関連イベント

ヒーローショー、ダンス、新体操、和太鼓、ファッションショー、漫才大会、抹茶体験、御朱印帳作り、白バイパトカー・消防車展示、サブ会場での映画上映
能古島観光PR大使であり実行委員でもあるSHUNにより、能古島国際映画祭のテーマ曲「宝物～能古島よ、ありがとう～」が書き下ろされ、出演者や関係者で披露され関連イベントを締め括った。

スポンサー・協賛企業

Minglee(株)/秀建イベント/(株)セキワ物産/(株)福岡リムジンサービス/(株)マネジメント・アイ/あ・うんグループ/(一社)九州の女/(一社)地域企業連合会九州連携機構/株式会社ビエトロ/株式会社ヴァンペールフーズ

3. SSFF(ショートショートフィルムフェスティバル) SSFF 優秀作品鑑賞



「第九」コンサート むなかた2023



オールむなかた

会場 宗像ユリックス イベントホール

開催日 令和5年12月3日(日)

事業概要

2008年から継続しており、途中コロナ禍のため2度中止を余儀なくされたが、今年で14回目となる宗像で恒例のベートーベン作曲の「第九」コンサートである。

地元「宗像フィルハーモニー管弦楽団」との共演で「オールむなかた」の体制で演奏した。演目はベートーベン作曲の「第九」とともに、世界遺産登録記念として作曲した「神宿る島」テーマ曲を演奏した。

当日の状況

イベントホールにて、第1部は「神宿る島」テーマ曲を管弦楽団と混声合唱で演奏した。そして、第2部は交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付き」を約100人の混声合唱団と60人で構成する管弦楽団として、橋本エリ子さん(福岡教育大学教授)らを中心としたソリストを迎え演奏した。来場されたお客様は約1050人で、その他スタッフを含めた、合計約1200人の人々が感動のうずには包まれた。

また、ロビーではベートーベンゆかりの映

像や顔抜きパネルなどを展示し、皆さんがベートーベンになりきって写真撮影をしていた。クリスマスを感じられるような、バルーンの制作配布などもおこない、子供たちにも喜んでもらえた。

まとめ

16年目をむかえ、宗像市や福津市を中心とした、市民の皆様にも愛され、これまでに、のべ1500人ほどの合唱団員が、宗像ユリックスのステージで歌い続けてきた。「第九」は誰でも一度は聞いたことのある曲である。今まで、合唱から離れていた方や、一度も歌ったことがなかった方たちの、フルオーケストラと一緒にステージで歌ってみたいという気持ちにこたえて、この演奏会を開催し続けてきた。これを機にこの演奏会の後も歌い続けたり、友人や、子供、孫をさそって一緒に歌ったり、あるいは他の合唱団で歌ったりと、私共の「第九コンサート」を足掛かりに、いろいろな音楽の芽が「むなかた」に広がって行けるようにと願っている。

当日プログラム

第1部 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群世界文化遺産登録記念テーマ曲

指揮 毛利博紀

合唱 むなかた「第九」合唱団

管弦楽 宗像フィルハーモニー管弦楽団

第2部 交響曲第9番 二短調

作品125「合唱付き」

指揮 毛利博紀

ソプラノ 林満理子

メゾ・ソプラノ 橋本エリ子

テノール 行天祥晃

バリトン 新見準平

合唱 むなかた「第九」合唱団

管弦楽 宗像フィルハーモニー管弦楽団

第78回福岡県美術展覧会(県展)

県民の美の祭典、全国有数の公募美術展

会場 福岡県立美術館 他

開催日 令和5年9月5日(火)～11月26日(日)

事業概要

県民から広く作品を募集し、その優れた成果を展示することで、創造意欲を高め、美術を通じた豊かな生き方を支援する。あわせて、福岡県美術協会会員の作品を展示し、福岡県における美術活動のより一層の充実を目指すものである。

主催／福岡県美術展覧会実行委員会(福岡県立美術館、公益社団法人福岡県美術協会、西日本新聞社)

後援／福岡市・福岡市教育委員会 ほか

協賛／株式会社岩田屋三越、ASOポップカルチャー専門学校、久原本家グループ ほか

まとめ

県民の美の祭典として、「県展」の愛称で親しまれている本展覧会は今年度で78回目をむかえた。出品数、内容ともに全国有数の公募美術展であり、県民の美術活動の振興・発展の一助となっている。どの作品も出品者の情熱の結晶であり、創作の喜びにあふれた力作であった。

公募の部では幅広い世代から2,441点の作品が出品され、入賞・入選作品1,307点、会員の部583点の作品を4期に分けて展示した。公募の部では10歳代の5名が入賞し、若手作家の活躍が光った。また、写真部門では、今年度からWEBによる出品の受付を開始した。スマホやパソコンから手軽に出品できる方法が広く認知されれば、今後の新たな出品者の開拓につながり、県展が更に活性化されていくものと期待している。

当日プログラム

<開催日・会場>

■県展(福岡県立美術館)

(1期) 彫刻・写真

9月5日(火)～9月10日(日)

(2期) 日本画・工芸・デザイン

9月12日(火)～9月18日(月・祝)

(3期) 洋画

9月20日(水)～9月24日(日)

(4期) 書

9月26日(火)～10月1日(日)

【巡回展】

■筑後展(大牟田文化会館)

日本画・洋画・書・写真

10月8日(日)～10月14日(土)

■筑豊展(嘉麻市立織田廣喜美術館)

洋画

10月18日(水)～10月22日(日)

日本画・写真・デザイン

10月25日(水)～10月29日(日)

書

11月1日(水)～11月5日(日)

■宗像展(宗像ユリックス)

日本画・書

11月7日(火)～11月12日(日)

洋画・写真

11月14日(火)～11月19日(日)

■北九州展(北九州市立美術館)

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン

11月22日(水)～11月26日(日)

当日の状況

		【公募の部 出品数・入選数】			※入選数には、入賞数も含む。
部 門		出品数	出品人数	入選数	入選人数
日 本 画		75	73	55	55
洋 画		444	356	213	212
彫 刻		39	36	26	26
工 芸		161	140	110	106
書	漢 字	486	—	291	284.5
	か な	244	—	146	135.5
	てん刻	59	—	35	34.5
	調和体	84	—	50	49.5
	小 計	873	815	522	504
写 真		664	471	285	284
デ ザ イン		185	178	96	93
合 計		2,441	2,069	1,307	1,280

書部門における入選人数の0.5の端数は1人が異種で2点入選のため

審査員

【日本画】 倉橋 協子、田籠 由美子、古野 靖弘、松本 由美子

【洋画】 坂口 寛敏、阿部 健太、酒井 忠臣、津國 進、中村 俊雅

【彫刻】 林 武史、高野 直幸、知足院 美加子、灰塚 みゆき、湯之原 淳

【工芸】 赤沼 潔、外館 和子、梅林 保乃、太田 剛速、津留崎 順子、藤本 健一郎

【書】 劉 作勝、財前 謙、呂 軍、今津 瑠美子、鶴 亀山、川波 崎嶂、工藤 崇峰、小柳 少鼎、師村 妙石

【写真】 蜂須賀 秀紀、角 和典、関 智恵子、毛上 紀子、山崎 政男

【デザイン】 福島 治、江頭 一博、佐土嶋 文香、田邊 幹夫、山根 修平

福岡県知事賞



日本画部門
「廃舎」中原 成子（春日市）



洋画部門
「Stay Home 読書」猪股 寛昭（福岡市南区）



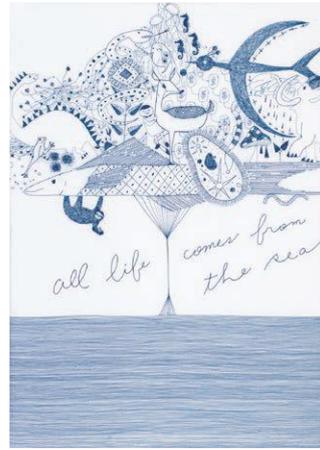
写真部門
「夏の滝」大脇 洋彦（福岡市博多区）



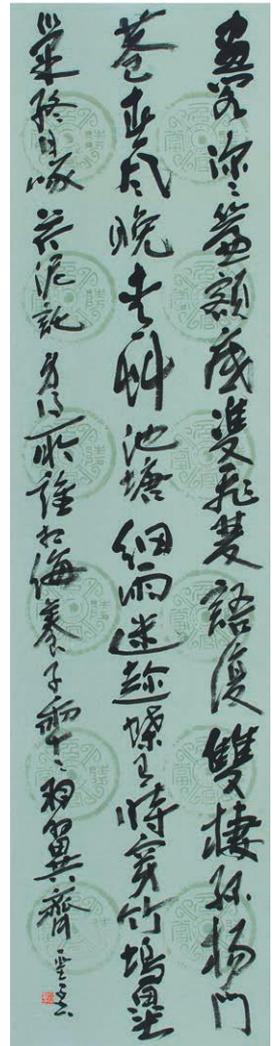
彫刻部門
「反脆弱性」山上 奏人（福岡市東区）



工芸部門
「神功皇后」小嶋 慎二（福岡市東区）



デザイン部門
「すべての命は海から生まれ」
中村 美香（福岡市南区）



書部門
「李承召之詩」大谷 聖子
（北九州市八幡西区）

福岡県 文化団体連合会賞



日本画部門
「波音を聴きながら」東島 敏子（新宮町）



工芸部門
「涼風」山本 由美子（飯塚市）



写真部門
「祈り」山木 伸寛（小郡市）



洋画部門
「刻のかたみⅠ」花田 美佐子（北九州市八幡西区）

第29回 ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル



気の合った仲間とアンサンブル!届ける素敵なハーモニー!

会場 なかまハーモニーホール大ホール

開催日 令和5年10月8日(日)

事業概要

福岡県内で活動している2名~16名までのアマチュアコーラスグループを対象とするフェスティバル。発表の機会が多くない少人数のコーラスグループに発表の場を提供すると共に、県民による楽しいイベントを開催。

当日の状況

2020年度から常にコロナ感染対策を講じての開催であったが、今年度は、過度な感染対策を講じることなく開催ができたことを参加者・観客全員が感じたことだろう。エントリーグループすべてが参加し、講師2人によるグループへの講評を書いてもらうとともに、各グループが単に演奏するだけでなく、今後の励みになる賞として「ヴォーカル賞」「アンサンブル賞」「フェスティバル賞」を選考し最優秀賞「アンコール賞」が贈られた。また、観客による抽選で選ばれた「サプライズ賞」も復活し聴く者(観る者)ともに大いに盛り上がった。

まとめ

2020年から無観客で開催するなど、異例続きであったにも関わらず、毎年演奏の場を提供し、コロナ後の日常復帰へ先鞭をつけなければならないこともあり実施したことは、意義があったことと実感した。これからも、この催事を通して、県内で活動する幅広い世代の少人数グループが日頃の成果を存分に発揮する機会となり、アンサンブルの楽しさを多くの人たちに知ってもらう機会を作ることにより、合唱人口の視野を広げ、他者とふれあい音楽を共有し、合唱音楽の向上・発展につながると信じている。今後も福岡県内各地で開催し、出演者同志の交流、出演者と聴衆との交流、出演者と開催地の人々との交流など、歌声の輪を通じた人の輪(和)を福岡県内に広げていきたい。

当日プログラム

・開会式10:00(開演10:05)

- 1 主催者挨拶
福岡県合唱連盟理事長 田中日出夫
- 2 講師の紹介
岩崎洋一(合唱指揮者)、
吉田尚子(クラリネット奏者)
- 3 各賞の紹介
ヴォーカル賞・アンサンブル賞・フェスティバル賞・アンコール賞・サプライズ賞
- 4 演奏開始 1番~32番
- 5 講師による各賞の発表
- 6 閉会式

第13回筑豊地区中学校総合文化祭



「Believe」「希望」

会場

飯塚市文化会館 イヅカコスモスコモン(ステージ部門)
嘉麻市 織田美術館(展示部門)

開催日

令和5年10月8日(日)ステージ部門
令和5年10月14日(土)~15日(日)展示部門

事業概要

飯塚市・嘉麻市・桂川町・田川市・田川郡の中学生による総合文化祭でステージと展示の2部門で行う。ステージ部門は少年の主張の県大会出場者、放送コンテスト県大会出場者、吹奏楽コンクール県大会出場者等で発表する。展示部門では美術部作品を中心に書道部書写や合同作品などを展示する。

当日の状況

ステージ部門は、進行は放送部が行い、県少年の主張出場者の発表からスタートし、夏のNHK杯全国中学校放送コンテストにも選ばれた放送部の朗読やアナウンスなどを発表した。テレビ部門では田川市の2中学校の「いいかねロマン」と「桜は咲いている」を上映した。リコーダーアンサンブルは、小中一貫校飯塚鎮西校が演奏した。吹奏楽は県吹奏楽コンクールに出場した穂波西中学校と飯塚第一中学校が演奏を行った。フィナーレとして飯塚第一中学校の演奏により会場全員で特に卒業式の歌として歌われる「BELIEVE」(ビリーヴ)を合唱した。

展示部門では、2日間織田美術館展示ホールを借り、延べ351人の参加者があった。感想コーナーを設置し、作品の魅力を知ることができた。

まとめ

ステージ部門は4年ぶりにイヅカコスモスコモンを会場とし感染対策等の制限のない大会であった。大きなホール会場で、保護者や先生、友達、卒業生の前で筑豊地区の代表として素晴らしい発表をすることができた。最後のフィナーレでは、会場の出演者と客席を含めての合唱「ビリーヴ」は、今までの苦しい日々から、これからの未来への思いが歌声として十分詰まった感動の場となった。

展示部門では、織田美術館の展示ホールを借り、今年は書道部の大きな作品も加わり見ごたえのある作品展となった。

当日プログラム

- ・ステージ部門
 - 少年の主張 3名
 - 放送部朗読 3名
 - 放送部アナウンス 3名
 - 放送部テレビ番組 2校
 - リコーダーアンサンブル 1校
 - 吹奏楽部演奏 2校
 - フィナーレ 全員合唱「Believe」
- ・展示部門
 - テーマ作品部門 「希望」
 - 題材自由部門
 - 総作品点数 666点



吟剣詩舞フェスティバル



第43回福岡県吟剣詩舞道福岡大会

会場 福岡市立城南市民センター

開催日 令和5年10月9日(月・祝)

事業概要

各会派の人数別による合吟コンクールが行われ、それぞれのチームの調和やハーモニーの素晴らしさを競い合った。その後、コンクールの全国大会や九州大会において優秀な成績を取めた方々の吟詠や剣詩舞が披露され、続いて各会の代表者や役員による吟詠、剣詩舞が行われた。式典では来賓の祝辞を頂き、合吟コンクールで優秀な成績を取めたグループの発表、表彰が行われ、当日の全行事を終了した。

当日の状況

合吟コンクールでは、各会派の会員が3人組、5人組、10人組、15人組に分かれて50チームが出場し、日頃の練習の成果を競い合った。また、舞の会員による勇壮な剣舞や華やかな詩舞も披露された。さらに全国大会や九州大会で優秀な成績を取めた会員の吟詠や剣詩舞の披露では、その素晴らしさにため息とともに大きな拍手が沸き、会場は感動に包まれていた。

まとめ

合吟コンクールは4年ぶりの開催であったが、緊張感の中にも息の合った歌声が会場いっぱいに響き渡り、出場者及び観客の気持ちを高揚させることができ、気持ちを一つにすることの大切さを今一度確認することができた。そのことは会員同士の絆を更に深める良い機会となった。

また、会場いっぱいに響き渡る優秀な吟詠や舞台いっぱいに繰り広げられる華麗な剣詩舞を見聞きすることは、この伝統文化を更に広めていくための大きな一歩になったと思われる。今後とも軌道の普及向上に寄与できる取り組みを推進していきたい。

当日プログラム

1. 開会の言葉
2. 国歌斉唱
3. 会詩合吟
4. 物故者慰霊黙祷
5. 審査員紹介、審査上の注意
6. 合吟コンクール
7. 一般剣詩舞
8. 九州大会入賞者吟詠・剣詩舞
9. 全国吟詠コンクール決選大会入賞者吟詠
10. 少壮吟士吟詠
11. 役員吟詠・剣詩舞
12. 式典
13. 成績発表・表彰
14. 閉会の言葉
15. 万歳三唱



県民茶会



「侘び」「寂び」「雅び」を楽しむ文化

会場 福岡県糸島市国登録有形文化財「椛島家住宅」

開催日 令和5年10月22日(日)

事業概要

今年の県民茶会の行事は糸島市にある、国の登録有形文化財に指定を受けた椛島家住宅で開催した。

古民家の美観維持のため、文化庁と福岡県、糸島市の協力の基に120年ぶりに修復し、日本の伝統的住宅の美しさを県民、市民の皆様には拝観していただきたく、ご案内をした次第である。

当日の状況

県民の文化行事として「侘び」「寂び」の茶道、「雅び」の香道の作法を日本の古民家の佇まい、書院の間を中心に披露して、日本の伝統文化を体験し楽しんでいただいた。また、住宅内外の景観を見ていただき老若男女160余名の方に晩秋の季節を楽しんでいた。

関係各位の方々のご支援に感謝して報告いたす次第である。

まとめ

令和5年10月22日、私共茶道南坊流は、糸島は二丈田中に所在する国の登録有形文化財の椛島家住宅にて椛島和尚所蔵の貴重な道具をお借りし茶席を持たせていただいた。明治時代に建てられ、残された襖絵、障子格子、欄間に囲まれた書院広間で時代物のお道具の数々で室礼し、おもてなしでき、お客様には、時空をタイムスリップしたかのような時間を体験していただけたのではと感じてい

る。茶軸に掛けた大徳寺管長、雪窓老子の「山色清浄身」、やつれ風炉芦屋釜を中置きにし、主茶盃は楽焼長次郎、替茶碗は馬盃形の織部、藁は金蒔絵で秋の野。秋の深まりを予感させる秋晴れの中、のどかな糸島の風景に囲まれて沢山の笑顔に出会えたお茶会となった(稲富 由史子)。

当日プログラム

受付9:30~13:00(受付締切)



押し花フェスティバル



～押し花と共に…花のある心豊かな人生を～

会場 アクロス福岡2F交流ギャラリー

開催日 令和5年10月27日(金)～10月29日(日)

事業概要

福岡で活動中の押し花講師及び生徒の額作品、小物作品の展示を中心に、会員の押し花ボランティア活動、押し花協会の活動の状況についての展示も実施した。

また、押し花体験や標本作りコーナーを設け、広く押し花文化を伝えることを目指した。

当日の状況

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の不安を除くため、受付や体験コーナーのテーブルには消毒液を設置するとともに、来場者が入口から順路に沿って観覧していただくようスタッフによる声掛けを実施した。

体験コーナーや活動状況の展示コーナーにもスタッフを多く配置し、来場者一人ひとりに丁寧な説明を行うことにより、押し花に対する理解が深まり、好きになっていただけたよう心がけた。

まとめ

会場内の混雑を避けるため、出口と入口を分け、順路に沿ってスムーズに観覧できるように展示を行うなど会場設営を工夫し、未だ新型コロナウイルスやインフルエンザ感染拡大の不安が続く中、3日間の日程を無事終了することができた。

また、体験コーナーを設けたことにより、押し花の楽しさを実際に感じていただけたと思う。

今後も会員間で研鑽を重ね、新しい表現方法による作品などを一層充実させるとともに、会場の設営、展示についても工夫を重ね、多くの方へ感動を与えるイベントにしたい。



当日プログラム

3日間共通

押し花作品展示、教室毎の活動及びボランティア活動資料展示、カレンダー製作体験等
(開催時間 10:00～17:00(最終日16:00まで))



短歌大会



短歌の魅力

会場 福岡商工会議所

開催日 令和5年10月29日(日)

事業概要

今年はコロナ感染症の制約が解かれ、皆さま方と一堂に会しての正常な形で福岡商工会議所にて大会を開催した。令和4年度より「福岡県歌人会歌集賞」を創設した。その第1回歌集賞の発表と授賞式を執り行った。短歌大会においては、事前に応募があった336名による609首の歌の中から優れた作品に、賞状と副賞を授与した。歌人の志垣澄幸氏をお招きし、講演を開催した。また、大会出詠者に応募作掲載の「作品集」を進呈した。

当日の状況

当日の大会会場には170名の参加があった。「福岡県歌人会歌集賞」では、8冊の歌集の中から5名の選者により優秀歌集賞、優良歌集賞を選出し、第1回歌集賞の発表と授賞式を執り行った。

短歌大会では、応募作品の中より、6名の選者により県知事賞など特別賞13賞を選出。それぞれ表彰を行なった。そして、選者6名による選歌講評を行なった。

今年の講演は、歌人の志垣澄幸氏をお招き

した。「短歌の魅力」と題して、作歌や短歌を続けるポイントなど、参加者皆さまにとって得るものの多い内容であった。講師の楽しい話ぶりに会場は終始和やかな雰囲気に満ちていた。

まとめ

今年の短歌大会はコロナウイルス流行が続く中ではあったが、県内の短歌を愛する皆さまと共に一堂に会する年1回の大会として開催することができた事は、大きな喜びであった。県を挙げての多くの皆さまの短歌への熱意とご協力のお陰だと改めて感謝する大会であった。

会場は、参加者の皆さまが活き活きと目を輝かせながら話を聞き入っていらっしゃる姿、また熱心にメモをとっていらっしゃる姿が印象的だった。



当日プログラム

第31回ふくおか県民文化祭2023短歌大会

1 開会

・主催者、来賓、講師紹介

福岡県歌人会会長、短歌大会委員長

植村隆雄

福岡県知事代理

福岡県人づくり県民生活部文化振興課課長

市村智子

福岡県文化団体連合会理事長 宇多川宣人

福岡文化連盟事務局長 北里晋

講師 志垣澄幸

・主催者挨拶、来賓挨拶

福岡県歌人会会長、短歌大会委員長

植村隆雄

福岡県知事代理

福岡県人づくり県民生活部文化振興課課長

市村智子

福岡県文化団体連合会理事長 宇多川宣人

福岡文化連盟事務局長 北里晋

2 歌集賞表彰

講評 桜川冴子 藤野早苗

3 特別賞表彰

4 選歌講評

選者 志垣澄幸 桜川冴子 藤野早苗

植村隆雄 西城輝子 内藤賢司

5 講演 志垣澄幸

6 閉会

第15回バレエフェスティバル



ダンスコレクションズ、第5回若葉のバレエコンクール、 Coppélia 全幕 (ダイジェスト版)

会場 福岡市民会館大ホール

開催日 令和5年11月3日 (金・祝)

事業概要

地域の愛好家及び地域で舞踊を学ぶ幼少年が世界のプリンシパルと共に舞台を作り上げる合同作品「Coppélia全幕(ダイジェスト版)」、バレエのみならず、様々な舞踊で各々の個性と芸術性を発揮するダンスコレクションズ、踊りの出来栄を競うのではなく、どこまでも伸び行く子ども達を応援し、教育の機会となる事を主眼とした「若葉のバレエコンクール」を実施した。

当日の状況

今回は海外からのアーティストの来福が到来、世界のプリンシパルと地域の子も達・愛好家との競演が久し振りに実現した。ダンスコレクションズでは、日本に留学経験を持つベトナムアラベスク舞踊団代表グエンタンロック氏が日越国交50周年を記念し英語でスピーチをし、参加者の中学生が通訳をした。コンテンポラリーダンスの「Voyage」では、アラベスク舞踊団の舞踊手がサンサンスの白鳥を子ども達によるピアノとバイオリンの生演奏で踊り、子ども達が将来も国境を越え

て芸術を共に創造し、交流することを象徴した作品となった。合同作品「Coppélia」では、観客は地域でバレエを学ぶ子ども達の愛らしさに微笑み、世界のプリンシパルの力演には熱い拍手で応えた。

まとめ

コロナ禍で令和2年、3年は海外のプリンシパルの映像との共演、令和4年は海外からの映像も無く、福岡の出演者のみの舞台で、地域のバレエを学ぶ子ども達や愛好家と海外芸術家との交流が今まで制限されていたが、やっと今回世界のプリンシパルとの競演が出来、感慨深い舞台となった。やはり映像よりも直接、共に世界のプリンシパルと舞台を作り上げる経験は地域でバレエを学ぶ子ども達・愛好家に深い感動と活力を与え、きらきらと輝く参加者の瞳に今回のフェスティバルの成果が感じられた。その瞳はバレエフェスティバルを経てベトナムアラベスク舞踊団首席舞踊手として活躍するチャンバンティン氏の熱演にも向けられ、ティン氏の舞踊はフェスティバルの育成の成果が光っていた。

当日のプログラム

第1部 ダンスコレクションズ

コンテンポラリーダンス 日本とベトナムの国交50周年を記念してベトナムアラベスク舞踊団よりチャンバンティン氏、巽千華氏によるThe MistよりSilkのアダジオ
ダンスコレクションズの一環、バリエーションズとして、第5回若葉のバレエコンクールを実施。後日映像を海外の審査員に送り審査。

オリエンタルダンス Energy Flow、子ども達のピアノとバイオリンの生演奏によるコンテンポラリーダンス Voyage

第2部 Coppélia全幕(ダイジェスト版)

地域でバレエを学ぶ子ども達と世界のプリンシパルの競演による、全幕バレエ。



第72回筑前琵琶鑑賞会



筑前琵琶の世界にようこそ

会場 福岡市美術館 ミュージアムホール

開催日 令和5年11月5日(日)

事業概要

本年の筑前琵琶鑑賞会は、会場を福岡市美術館ミュージアムホールで実施した。演奏曲は高校演劇部員による寸劇を交えて紹介した。演奏の途中には映像を取り入れ、難解な琵琶曲をわかりやすくした。

当日の状況

高校生が出演する会場であったため、十代のお客さまが例年より多かった。初めて琵琶を聴き、興味をもっていただけた。例年ご来場の方々も初舞台の若い出演者に(若き敦盛演奏)暖かい拍手を贈られ、将来性に感心されていた。また、曲の紹介に福岡中央高校演劇部員による寸劇を取り入れたが、演劇部員の一生懸命で若々しい姿は大変好評でお楽しみいただけたようだ。最後の曲は明智光秀の物語をプロのナレーターの生野文治さんが語り、その後を琵琶の演奏で語る聴きごたえのあるものとなった。

まとめ

寸劇による琵琶の紹介は物語の導入として面白い試みとなった。琵琶の曲の間のポイントとしてお客さまの関心を引き付けていたと感じた。

演奏中に映像を映したこともより曲の理解が深まったと感想をいただけた。時には映像や寸劇を取り入れた演奏会を企画することも筑前琵琶に親しんでいただけるツールとして活用していきたい。

当日プログラム

- ・若き敦盛 原田 匠
- ・貧女の一燈 杉本 旭彩
- ・湖水渡 梶谷 旭叡
- ・浜松城 北 旭鷗
- ・巴御前 原口 旭愛
- ・小栗栖 米村 旭翔
- 語り 生野 文治



「筑後詩の地脈、水脈をたどる」



戦後詩、現代詩を牽引した豊饒な筑後地域の詩に触れ、今、私たちが求める詩に出会う。

会場 久留米市文化センター共同ホール1F研修室

開催日 令和5年11月5日(日)

事業概要

戦後、福岡の筑後地域は、いち早く全国へと詩を発信し、次々と詩人を輩出、福岡の現代詩の歴史を築きあげてきた。その歴史を当事者として関わってきた詩人によって語り伝えようと考えて企画した。第1部では豊富なエピソードを交えた語りによって歴史の検証が行われ、第2部では、朗読によって過去、現在の詩を伝えることができた。詩の魅力とことばの大切さを伝えることを意図した企画だった。

当日の状況

第1部は「筑後詩の地脈、水脈をたどる」と題して、筑後地方の詩史をつぶさに見てきた詩人によるトークイベントが行われた。登壇者は3名。うらいちらは、筑後の詩を読み解き、緒方和美は、自身が作った資料を駆使して歴史を浮かびあがらせた。また、詩人で陶芸家の山本源太は、詩誌での豊かな体験を味わい深い語りで伝えてくれた。丸山豊により創刊された「母音」から始まる筑後詩の豊饒な流れは、参加したあらゆる年代層の興味を呼び起こした。

第2部は「今に広がる筑後の詩」と題し、現在、筑後地方にあって活動している詩人の詩を10名の詩人、朗読者が、朗読によって紹介した。また、第2部では、大牟田を中心に活躍した詩人についても語られた。

まとめ

トークイベントでは、筑後の詩がたどってきた歴史が語られた。エピソードを交えた語りで、戦後のそれぞれの時期に詩誌を作り、詩壇を引っばっていく詩人を輩出してきた筑後地方の豊かな詩の沃野を知ることができた。多彩な才能が生み出した詩を読むことで、詩の魅力に触れられたと思う。

第2部では、現在、筑後地方に居住しながら、詩の創作活動を行っている詩人たちの朗読を聴くことで、過去から現在へとつながる詩の継承を感じることができた。

人々が交流し、お互いに研鑽を重ね、それぞれの個性を磨きながらも協力して詩の世界を築きあげてきた筑後詩の世界は、表現者にとって集団がいかに大切かを教えてくれている。また、地域の持つ意味を参加者とともに考えられた。

当日プログラム

開場 13:00

開会 13:30

実行委員長挨拶

第1部トークイベント

「筑後詩の地脈、水脈をたどる」

緒方和美 山本源太 進行うらいちら

休憩

第2部朗読

「今に広がる筑後の詩」

閉会 16:15



俳句大会



文化と歴史の風を詠む

会場 大野城まどかぴあ(大野城市)

開催日 令和5年11月17日(金)

事業概要

8月1日から8月31日(児童生徒の部は9月7日)に、投句募集を行った。一般の部には458人から2,060句が、児童生徒の部には29の小中特別支援学校の1,534名から2,724句の応募があった。それぞれの部において入賞句の選句を行い、11月17日(金)に大野城まどかぴあ(大野城市)で、アトラクション、記念講演、当日句応募、表彰式を内容とする大会を開催した。

当日の状況

アトラクション(筑前琵琶、詩吟朗詠)、開会行事に続いて、大野城心のふるさと館 赤司善彦館長(考古学)の「文芸が語る大宰府跡の歴史」を演題とする記念講演、当日句の募集、表彰式を内容とする大会を開催した。当日句には84名の応募があったほか、大会には関係者を含め114名が参加した。

福岡県知事賞

喜びを隠せぬ日傘廻しをり

太宰府市 川路泰子

福岡県ねりんスポーツ・文化祭
俳句交流大会賞

サングラスATMに来て外す

福岡市早良区 深瀬直治

まとめ

今年の大会も、アトラクション、講演会、表彰式に加え、当日句も復活させ、例年どおりの大会を開催することができた。大会当日は雨天であったこと、新型コロナによる出控えが影響しているのか、参加者数は114名と昨年(120名)より微減した。

当日プログラム

歓迎アトラクション 筑前琵琶、詩吟朗詠
(東本旭令氏 大野城市在住)

開会行事

主催者挨拶

ふくおか県民文化祭俳句大会

実行委員会委員長 福本弘明

来賓挨拶

福岡県文化団体

連合会理事長 宇田川宣人氏

大野城市長 井本宗司氏

記念講演

講師 赤司善彦氏

(大野城心のふるさと館館長 考古学)

演題 「文芸が語る大宰府跡の歴史」

募集句表彰 選者紹介

募集句選評 各賞表彰

当日句表彰 選者紹介

当日句発表・選評 表彰

閉会行事

挨拶

ふくおか県民文化祭俳句大会

実行委員会副委員長 介弘紀子

福岡県和太鼓フェスティバル



和と輪 10年の歩み 未来への響き

会場 クリエイト篠栗

開催日 令和5年11月26日(日)

事業概要

福岡県和太鼓友輪会会員団体、特別ゲスト和楽団ジャパンマーベラスによる和太鼓の共演。福岡県和太鼓友輪会創設10周年を記念した舞台として、会員団体が思いを込めた楽曲を披露。

当日の状況

福岡県和太鼓友輪会創設10周年を記念した舞台に向け、各会員団体が選曲・稽古してきた楽曲を披露。出演団体のプロフィールとともに本舞台10年の流れをステージにあがったMCが紹介、来場者とのトーク展開など特別感を醸した演出も和太鼓舞台を体感する楽しさを味わえるものとなった。開催地篠栗町所有の大太鼓の重厚感溢れる音色や、世界的に活躍する和楽団ジャパンマーベラスが繰り広げる圧巻の邦楽パフォーマンスに会場も大いに盛り上がった。

まとめ

幼児からシニア世代まで参加する舞台は、本番までの稽古や当日までの団体交流が青少年育成や後継者育成を充実させ活気ある舞台となるように取り組みを継続してきた。コロナ禍を乗り越えて迎えた舞台では、マスクを不要とし、子どもも大人も笑顔いっぱいに力強く和太鼓を打ち、会場にその音が響き渡った。節目となる舞台経験を経て伝統芸能に携わることの素晴らしさを改めて実感したことで、より一層組織力を高めた取り組みをしていきたいと今後の活動への意欲が高まった。



当日プログラム

来賓挨拶

篠栗町長 三浦 正

福岡県文化団体連合会 理事長 宇田川 宣人

主催挨拶 副実行委員長 島村 大道

祝電披露

第1部

川筋太鼓 飯塚響学館 疾風

&博多響学館 鼓博(飯塚市・福岡市)

九州和太鼓田川大藪太鼓(田川市)

川筋太鼓 翔&遥(福岡市)

休憩

第2部

創価福岡先駆太鼓団(飯塚市)

下関平家太鼓保存会 勝山会(山口県下関市)

つくし太鼓愛好会(筑紫野市)

特別ゲスト

和楽団ジャパンマーベラス



ふくおか県民文化祭2023inくろめ



ふしぎの国のRENとBUN

会場 久留米シティプラザ久留米座

開催日 令和5年10月21日(土)

事業概要

久留米連合文化会所属の美術・文芸・舞台芸能・華道、各部門の参加により多彩なジャンルで構成される芸術各分野の魅力を広くアピールした。舞台において、洋舞・謡曲仕舞・日舞・洋楽・邦楽また、ゴスペル・ブルーグラスなどの音楽ジャンルのパフォーマンスも登場。

当日の状況

今回の県民文化祭は久留米の伝統的な芸術文化の未来を担う子供たちに継承するとともに世代を超えて醸成することを目的とした。

子供たちは家族の支援を受け興味を持って会場に足を運んでいた。多彩なジャンルの舞台を鑑賞することで感性豊かな場を作ることができた。

かつ、通路の展示(絵画・デザイン・華道・俳句や短歌等)を興味深く鑑賞され、久留米連合文化会の活動を周知することができた。

まとめ

北筑後ブロックのなかで急遽久留米に担当が回ってきたので今回の企画など充実した会議を開くことが出来ず、不安の中とりかかったイベントだった。

講演直前で、担当部門の中で趣旨に沿った舞台にしようとの一体感が生まれた。



当日プログラム

1. 謡曲・仕舞
2. 邦楽(箏の演奏)
3. 日本舞踊
4. 洋舞(フジタバレエ研究所)
5. 洋楽(ピアノ・バイオリン独奏)
6. 洋舞(ASSAバレエアカデミア)
7. 文化交流部
(ハッチャリーズ・プレシヤスゴスペル)



第26回福岡IIブロック 「芸術の祭典」in大野城



文化をはぐくみ未来へ

会場 大野城まどかぴあ

開催日 令和5年10月21日(土)、22日(日)

事業概要

6市(糸島市、太宰府市、春日市、筑紫野市、那珂川市、大野城市)の各文化団体が、テーマの趣旨を踏まえ日頃の練習の成果を文芸美術展・芸能祭で発表した。

1. 開会式典

10月22日(日) 12:00~12:25

2. 文芸美術展

10月21日(土) 13:00~16:00

10月22日(日) 10:00~15:30

3. 芸能祭

10月22日(日) 12:30~16:00

当日の状況

文芸美術展

10月21日(土) 13:00~16:00

(9:00~搬入展示)

10月22日(日) 10:00~15:30

- 書道 46点 ○造形 2点 ○篆刻 9点
- ペン実用書道 12点 ○漢詩 8点
- 写真 4点 ○陶器 33点 ○竹細工 18点
- つるし飾り 1点 ○染織 1点
- 着物リメイク 6点 ○絵画・オブジェ 17点
- 水彩画 4点 ○水墨画 5点 ○折り紙 1点
- 俳句 35点 ○短歌 4点 ○盆栽 11点
- スタンドグラス 1点 ○生け花 7点

開会式典

10月22日(日) 12:00~12:25

来賓挨拶、主催者挨拶

芸能祭

10月22日(日) 12:30~16:00

- 糸島市(舞踊、和太鼓)
- 太宰府市(舞踊、コーラス)
- 春日市(琉球舞踊、和洋アンサンブル)
- 筑紫野市(日本舞踊、オカリナ演奏、よさこい)
- 那珂川市(アコースティックユニット、カントリーダンス)
- 大野城市(舞踊、民謡・端歌・三味線、鳴り物、バレエ、ジュニアダンス、太鼓、空手、じゃおどり)

お茶席

10月22日(日) 11:00~16:00

まとめ

福岡IIブロック「芸術の祭典」in大野城は、県民文化祭の意義を理解し、地域の特性即ち福岡IIブロック地域の歴史と文化を育んだ土壌に生まれた、伝統芸能や作品の数々を会員の皆様と共有し、新たな交流の輪を広げることが目的に実施した。

文芸美術展には様々なジャンルの作品が会場を彩り、芸能祭では老若男女が素晴らしい演技を披露し、フィナーレでは大野城市マスコットキャラクター大野ジョークくんも登場し多彩なコラボレーションで会場を盛り上げた。

第26回福岡IIブロック「芸術の祭典」in大野城は福岡IIブロック地域の歴史と新しい文化を作品・芸能等で認識し、共有することができ、今回のテーマ「文化をはぐくみ未来へ」とおり、今後も子どもから大人まで多くの人々の交流と更なる活動の展開が期待されるものとなった。

当日プログラム

芸能祭 10月22日(日) 12:30~16:00

- 1 糸島 舞踊 美豊の会 松栄会
- 2 大野城 ジュニアダンス ビクシー・オーレ
- 3 太宰府 コーラス コール秋桜
- 4 筑紫野 日本舞踊 筑紫野市日本舞踊協会
- 5 那珂川 アコースティックユニット ぶらっとビート
- 6 春日 琉球舞踊 柳清本流柳美会外間清子琉球舞踊研究所
- 7 大野城 バレエ ゆりごバレエスタジオ
- 8 太宰府 舞踊 錦和会 太宰府舞踊会
- 9 春日 和洋アンサンブル 民俗楽 颯響
- 10 筑紫野 オカリナ演奏 バステルトーン
- 11 大野城 鳴り物、三味線・唄、フラダンス 鳴り物松三悦会・美波会九州本部 柳會・卯月会 フラガール・カフェレイ
- 12 那珂川 カントリーダンス イーグルウイング
- 13 筑紫野 よさこいダンス 喜翔
- 14 糸島 和太鼓 糸島二丈絆太鼓
- 15 大野城 フィナーレ 舞踊同好会 本條秀紫会 藤本秀栄祥会 美俊会 ジュニア・リズム・バトン・フレンス 南ん子太鼓 おおの山城龍 沖縄伝統空手道少林流聖武館 ジュニアダンス



福岡1ブロック芸術文化のつどい



コロナを超えて更なる飛躍を目指す

会場 粕屋町「サンレイクかすやさくらホール」

開催日 令和5年10月22日(日)

事業概要

福岡1ブロック芸術文化のつどいは、宗像市、福津市、古賀市と糟屋郡の三市七町の文化協会加盟団体と会員が舞台出演することにより、地域の伝統芸能や特色のある文化活動の活性化を図り、相互のレベルの向上と親睦を深め、芸術文化の豊かな発展を図ることを目的に、文化協会持ち回りで開催している。今年度は粕屋町文化協会が担当した。

当日の状況

当日は、晴天に恵まれ、華やかな衣装をまとった出演者や多くの観客で賑った。オープニングでは、小学生の子による日本舞踊、体験学習で舞台デビューした子供達による箏演奏、中学生とは思えぬ素晴らしい日本舞踊が披露された。今後が大変楽しみである。続く舞台も、日本舞踊、吟剣詩舞、和太鼓演奏、詩吟等の伝統芸能に加え、バレエやバトン、フラダンス等の演技が披露され、観客もリラックスした様子で、久しぶりに声援が飛び、大きな拍手で舞台も盛り上がっていた。子供達による演技も多く、バラエティーに富んだ舞台となっ

た。客席ではファミリーなどの観客が多数見受けられた。最後は、元気な「よさこい踊り」で締めくくり、次年度の開催担当、宇美町文化協会へ引継がれた。

まとめ

「芸術文化のつどい」では、例年、演目、演者の年令層と多岐に亘る演技が楽しめる舞台となっている。

今年度は、コロナも落ち着いてきたことから第5類への移行となり、大幅に規制が緩和され、以前のように伸び伸びとした舞台が披露出来るようになり、出演者も観客もリラックスして、様々な演目で観客を魅了する舞台となった。以前から子供達にも出演をお願いしてきたが、日本舞踊や、クラシックバレエ、ジャズダンス、ピアノやお琴の演奏等多くの演目に出演してもらい、子供達から高齢者まで家族みんなで楽しんで頂ける舞台となった。今後も、家族で楽しみ、更に盛り上がる「芸術文化のつどい」になる様、推進したい。

当日プログラム

糟屋・宗像地区三市七町の文化協会加盟団体による舞台を開催した。

開演:9時30分 終演:16時00分
入場料:無料

各市町文化協会の演目は次の通り。

宗像市:コーラス
福津市:詩吟、詩舞、吟剣詩舞
宇美町:日本舞踊、フラダンス
志免町:日本舞踊、和太鼓、カラオケ、ダンス
須恵町:バレエ、カラオケ、詩舞、ピアノ
粕屋町:器楽・声楽、3B体操、バントワーリング
篠栗町:フラダンス、箏、日本舞踊
久山町:カラオケ(2団体)、フラダンス
古賀市:社交ダンス、器楽演奏

オープニング:
こども歳時記(民謡舞踊、箏演奏、詩舞)

フィナーレ:

YOSAKOI(筑前かすや一番隊、粕屋東中学連)
式典:主催者挨拶、歓迎の挨拶(粕屋町長)、
来賓紹介、来賓挨拶(県文連、衆議院議員、県会議員)、来賓30名
引継式:粕屋町文化協会から次年度開催地(宇美町文化協会)に引き継ぎ開会の式典

「猿が翔んだ!～石原宗祐物語～」 演劇公演



猿喰をそして曾根を黄金色の大地へ

会場 J:COM北九州芸術劇場 中劇場

開催日 令和5年11月25日(土)～26日(日)

事業概要

享保17年(1732)子の年、西日本一帯を襲った大飢饉。門司の23ヶ村では1400名を超える餓死者が出た。大里村庄屋役を28歳のときに父より引き継いだ石原小左衛門(宗祐)は、このような大惨事を村人たちに二度と味あわせてはならぬと強い思いを抱いていた。その後45歳のとき「大里六本松」に畑を開墾。それでも凶作不作による惨事を回避するためには備えが必要と新田開作を決意。庄屋職も息子に譲り、弟と猿喰湾埋め立てを計画・実行。50歳のとき「猿喰新田」を完成させた。どちらも自費で賄った。さらに85歳のとき小倉藩家老犬甘兵庫より曾根の開拓を命じられ、93歳のときに「曾根新田」を完成。97歳でなくなるまで人々のために尽くしてきた石原宗祐の物語。

当日の状況

劇中では単なるお芝居ではなく、歌や踊りを取り入れミュージカル仕立てで行ったおかげで、舞台芸術の幅広さも実感した。幕開きでは200年以上続いている門司田野浦の盆

踊りを取り入れたり、北九州市のわっしょい百万夏祭りでおなじみの「燃えろみんなの北九州」の楽曲で百万踊りも披露。ダンスシーンでは地元で活躍中の先生に振付けと出演を依頼し、地元猿喰の子ども達と一緒にユニークな「猿ダンス」も披露した。また歌も7曲歌唱。この作曲と演奏を地元で活躍されている先生に依頼、すばらしい楽曲のお陰で舞台に華を添えていただいた。また会場ロビーでは、猿喰新田の米で作った「あま酒」や日本酒「猿喰1757」の販売も行い多くの方に購入いただいた。

まとめ

今回、郷土の偉人「石原宗祐」を題材に取り上げたことにより、これまでなにげなく見ていた猿喰新田や曾根新田が出来る経緯を知り、先人達の思いや苦勞が良く分かった。稽古当初には門司猿喰に出向き現地研修も行った。石原宗祐のご子孫よりお話を伺ったり、実際に猿喰新田等を見る事によってより深く公演に取り組むことが出来た。また、さまざまな分野とのコラボにより、演劇の可能性を大きく感じた。観客の皆様にも大方の好評をいただき、今後の活動にも大きな励みとなった。

当日プログラム

11月25日(土)

1回目 13:00開場 13:30開演
15:40終演

2回目 18:00開場 18:30開演
20:40終演

11月26日(日)

3回目 13:00開場 13:30開演
15:40終演



第24回京築ふるさと文化祭



文化の継承 ～心揺さぶる感動をあなたへ～

会場

- ①ふるさとほりおこしフェア: 苅田町三原文化会館
- ②ふるさと芸能まつり: 苅田町立中央公民館

開催日

- ①令和5年11月25日(土)～26日(日)
- ②令和5年11月26日(日)

事業概要

京築2市5町8団体(行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町・築上町(椎田、築城)・吉富町・上毛町)の文化協会を中心とした総合文化祭であり、ほりおこしフェア(展示部門)では、書道・華道・工芸・絵画・陶芸・写真・短歌等の作品を展示し、芸能まつり(芸能部門)では、謡曲・民謡・日本舞踊・フラダンス・ハーモニカ・フレッシュ体操・詩吟等、日頃の練習の成果を発表し地域の文化振興発展に貢献した。

当日の状況

①ふるさとほりおこしフェア

会場となる苅田町三原文化会館で、各文化協会から18組133名余りの作品が展示された。地域ごとのブースでは出展者が訪れた人達に作品解説や案内を行い来場者と交流を深めていった。「各地区の方々の素晴らしい作品にふれ、文化の力強さを感じた」「いろいろな方の力作を見て、心が豊かになりました」等の感想を頂いた。

②ふるさと芸能まつり

会場となる苅田町立中央公民館で、24組約163名余りの出演者により日頃の成果を

充分に発揮された素晴らしく、多彩なステージを披露することができた。来場者からは、「幅広い種類の芸能に目を見張るものがあり、楽しく拝見させて頂きました」等の感想を頂き、京築地区の文化協会のレベルの高さを多くの人に知ってもらおう良い機会となった。

まとめ

「京築ふるさと文化祭」は今年第24回を迎えた。京築2市5町8団体それぞれの文化協会の特色・地域性を活かした展示作品やステージ部門の出演者のレベルも高く、来場者からの高評価を頂いた。地域文化の振興及び交流の促進をしていくと共に、来場者数のさらなる増加をめざし広報活動等にも力を入れていきたいと感じた。

当日プログラム

「ふるさとほりおこしフェア」(展示部門)

令和5年11月25日(土)～26日(日)

◆出展内容:書道・俳句・水墨画・洋画・能面・華道・陶芸・写真・短歌・工芸・川柳・視覚芸術ほか。

「ふるさと芸能まつり」(芸能部門)

令和5年11月26日(日)

◆出演プログラム 10:00 開会式

当日の出演プログラムは、下記のとおり。

- | | | |
|----------------|----------------------------------|-------------------|
| 1 苅田町文化協会 | <input type="checkbox"/> 謡曲 | 鶴亀 |
| 2 苅田町文化協会 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「Aloha Oe」アロハオエ |
| 3 苅田町文化協会 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「Aloha No Kalaua」 |
| 4 みやこ町文化協会 | <input type="checkbox"/> 舞踊 | 「ひえつき母恋唄」 |
| 5 築上町文化協会築城支部 | <input type="checkbox"/> 舞踊 | 「おてもやん」 |
| 6 吉富町文化協会 | <input type="checkbox"/> 舞踊 | 「筑後の龍」 |
| 7 吉富町文化協会 | <input type="checkbox"/> カラオケ | 「南部蟬しくれ」 |
| 8 上毛町文化協会 | <input type="checkbox"/> 詩吟 | 「熊本城」 |
| 9 築上町文化協会椎田支部 | <input type="checkbox"/> 謡(三味線内) | 「五平太船」他4曲 |
| 10 行橋市文化協会 | <input type="checkbox"/> フレッシュ体操 | 「咲かせや咲かせ」 |
| 11 豊前市文化協会 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「ヒロ マーチ」 |
| 12 豊前市文化協会 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「キスマーラブ」 |
| 13 上毛町文化協会 | <input type="checkbox"/> 舞踊 | 「花と龍」 |
| 14 上毛町文化協会 | <input type="checkbox"/> 舞踊 | 「熊本城」 |
| 15 苅田町文化協会 | <input type="checkbox"/> ハーモニカ | 「浜辺の歌」他2曲 |
| 16 築上町文化協会築城支部 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「ナ・ヴァクエロス」 |
| 17 豊前市文化協会 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「アレコキ」 |
| 18 行橋市文化協会 | <input type="checkbox"/> フレッシュ体操 | 「HANA」 |
| 19 築上町文化協会椎田支部 | <input type="checkbox"/> 詩吟 | 「早に白帝城を發す」 |
| 20 吉富町文化協会 | <input type="checkbox"/> 童吟 | 「故郷」 |
| 21 みやこ町文化協会 | <input type="checkbox"/> 舞踊 | 「伊豆の夕月、北海の花」 |
| 22 豊前市文化協会 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「アリー イオラニ」 |
| 23 築上町文化協会築城支部 | <input type="checkbox"/> フラダンス | 「糸」 |
| 24 行橋市文化協会 | <input type="checkbox"/> フレッシュ体操 | 「リバーサイドホテル」 |
| 25 苅田町文化協会 | <input type="checkbox"/> カラオケ | 「風雪ながれ旅」 |

北九州ブロック芸能のつどい



多彩なジャンルの舞台芸能のつどい

会場 ユメニティのおがた 大ホール

開催日 令和5年12月3日(日)

事業概要

北九州ブロック3市6町(直方市、宮若市、中間市、鞍手町、小竹町、岡垣町、芦屋町、遠賀町、水巻町)の各地域の文化団体で活動している青少年や高齢者の方々が郷土の伝統芸能や新しいジャンルの芸能・文化を披露し合い、文化の普及発展を図るとともに、それぞれの文化団体との親睦を深めた。

当日の状況

昨年度に引き続き、本年度も直方市が開催地区を担当し、ユメニティのおがたの大ホールを会場として実施した。はじめに、実行委員長の能間瀧次が来賓とご来場の皆様に対し挨拶を行った後、直方市長大塚進弘様と福岡県議会議員香原勝司様から心温まる祝辞を頂いた。

その後、各市町から計13の文化団体が出



演し、郷土の伝統芸能や新しいジャンルの芸能・文化を披露し合った。今年も吹奏楽や合唱、ダンス&演劇、フラダンス、三味線&日舞、バレエ、ボーカル演奏、ジャズ&タップダンス、ファッションショー、和太鼓と多彩な演目・曲目が披露され観客を魅了した。

まとめ

当日は、12月初旬ということもあり少し肌寒い1日ではあったが、出演者213人、来賓16人、観客数147人に足を運んでいただき、昨年比130人増という盛況ぶりでも、とても充実した集いとなった。「様々な舞台芸能を鑑賞でき、郷土の文化や伝統芸能を楽しく拝見させて頂きました。」という観客の声もあり、盛会裏に終えることができた。

令和6年度は、宮若市を開催地区とし、12月1日(日)ユメニティのおがた大ホールにて開催する予定である。



当日プログラム

- 1 直方市 A2シアター(ダンス&演劇)
【開会行事】
・実行委員長あいさつ 能間瀧次
・来賓祝辞 直方市長 大塚進弘様
福岡県議会議員 香原勝司様
- 2 小竹町 Kotake Music Company(吹奏楽)
- 3 中間市 アロハモアナHape(フラダンス)
- 4 岡垣町 秀宝会&英流(三味線&日舞)
- 5 水巻町 コーラスひまわり(合唱)
- 6 鞍手町 どれみの会&竹内里美
エコーランドバレエ(合唱&バレエ)
- 7 宮若市 男声コーラスバンブー&
女声コーラス元気(合唱)
- 8 遠賀町 プラス(ボーカル演奏)
- 9 直方市 TAPPY(タップ&ジャズダンス)
- 10 水巻町 ロミ アロハ フラストアジオ(フラダンス)
- 11 岡垣町 岡垣レクダンスサークル(レクダンス)
- 12 中間市 丸小野ドレスメーカー学院
(ファッションショー)
- 13 芦屋町 芦屋溝懸はまゆう太鼓(和太鼓)



筑豊ブロック事業 筑豊合唱フェスティバル



歌声を全身で感じよう 筑豊で

会場 糸田アリーナ

開催日 令和5年12月3日(日)

事業概要

筑豊の各市町村から出場した合唱団体合計15団体の合唱の発表と、特別出演の和太鼓たぎりによる太鼓の演奏によって、筑豊合唱フェスティバルを開催した。

当日の状況

今年は、初めに特別出演で、「和太鼓たぎり」による演奏から始め、その後開会行事をして、筑豊管内の合唱団体15団体により合唱を披露いただいた。各合唱団が日頃の練習の成果をいかに発揮され、とても素敵で、活力のある筑豊合唱フェスティバルとなった。

まとめ

令和5年度実施された本事業は、筑豊地区文化団体及び合唱15団体による、筑豊合唱フェスティバルを実施することができた。参加者も451人と多くの観客が見守るなか、合唱団体も笑顔で発表されとても活気のある筑豊合唱フェスティバルができた。

当日プログラム

特別出演「和太鼓たぎり」による演奏

- 1.主催者挨拶
第31回ふくおか県民文化祭2023
筑豊ブロック事業筑豊合唱フェスティバル
実行委員長 上田勝治
- 2.来賓挨拶
糸田町長 森下博輝
- 3.合唱出演団体
女声合唱団飯塚マミーコール
飯塚第九の会
コール梅香
なつき混成合唱団
田川合唱団
山田サルビアコール
コール・すこやか
グリークラブ・カナダ
コール・さざんか糸田
こぶしの会
ベル・アルモニア赤池
混成合唱団 コーロ・サンガ
童謡を歌う会
Musik Platz
コール・ダディ糸田
全体合唱



南筑後ブロック芸能フェスティバル



伝統芸能から大衆芸能までつなげよう郷土の文化次世代へ

会場 柳川市民文化会館「水都やながわ」

開催日 令和5年12月9日(土)

事業概要

柳川市・みやま市内で芸能活動を行っている文化団体が一堂に会し、日頃の活動の成果として、それぞれが特色を活かした舞台芸能を一般に公開し、多くの来場者の方々に郷土の文化を再認識してもらおうと同時に次世代を担う子どもたちへ伝える事により、心豊かな地域環境づくりの一翼を担うための芸能フェスティバルとして開催した。

当日の状況

当日は柳川市・みやま市の実行委員並びに担当スタッフは午前8時30分に集合し、受付係、進行係、舞台係に分かれ、それぞれの任務分担に基づき、スムーズな運営が行われた。

又、出演者は、日頃の活動の成果を発表し、出演者と観客の交流、更には素晴らしい芸は一般参加者に楽しめと感動を与え、文化活動への関心と意欲を大いに高めた。出演者は子どもから高齢者まで幅広く、謡曲仕舞・吟詠・フラダンス・和太鼓演奏・日本舞踊・大正琴・民謡・カラオケ・コーラス・シャンソン・社交ダンス・3

B体操・和楽器演奏・沖縄三線・文化箏・バレエの16種目59団体300名余が出演し盛会であった。

当日の観客数は述べ1000名と大変多くの方が熱心に鑑賞された。

まとめ

令和5年7月7日、柳川市文化協会、みやま市文化協会役員合同会議を開催。実行委員会設置と開催要項を決定し、事業開催に向けて取り組む。以後、実行委員会を4回開催、専門委員会を2回開催し、出演者や出演順の決定、ポスター、チラシ、プログラムの内容及び事業で準備する事や担当者の役割分担等について協議を行った。

開会式では主催者挨拶を南筑後ブロック協議会の会長、次に開催地の柳川市長からの歓迎の言葉に続き、来賓祝辞を県文連を始め4名の方から頂いた。開会式に引き続き、お祝いの謡曲仕舞を皮切りに、フィナーレのバレエまでの発表を多くの観客の方が熱心に鑑賞され、心豊かな地域環境づくりの一翼を担う芸能フェスティバルを開催する事が出来た。

当日プログラム

- ◎開式 9:30
 主催者挨拶 南筑後ブロック協議会会長
 歓迎の言葉 柳川市長
 来賓祝辞 4人の代表者
- ◎開演時間 10:10~16:30
- 謡曲仕舞 三橋謡曲部 喜扇会
 - 吟詠 鶴洲会、岳翠会
 - フラダンス フラストジオブルメリア 他6団体
 - フラダンス アロハアヒアヒ他1団体
 - 和太鼓演奏 たかた媛太鼓つくし会
 - 日本舞踊 岩井流紫扇会 他2団体
 - 日本舞踊 幸若流幸若会、河藤流豊和会
 - 大正琴 大正琴愛好会
 - 大正琴 琴美会
 - 民謡 金子民謡会
 - カラオケ 歌友会、美里会、歌輪、昭代会
 - カラオケ M・小林カラオケ教室 他3団体
 - 日本舞踊 藤間流藤由会、藤間流藤京会
 - 日本舞踊 幸若流幸若会 他2団体
 - コーラス 白秋を歌うコーラス蘭の会
 - シャンソン シャンソン&ポップスの会
 - カラオケ みなみ会 他2団体
 - カラオケ ひばり会 他5団体
 - 社交ダンス ダンススポーツ蒲池 3B体操
 - フラダンス アロハ山茶花 他1団体
 - 吟詠 豊吟吟道会、梓吟詠会
 - 和楽器演奏 ハートフルアンサンブル和音
 - 沖縄三線 沖縄三線の会「かぎすま」
 - 文化箏 あやめ会
 - 民謡 金子民謡会
 - 日本舞踊 花柳流愛帆会 他2団体
 - バレエ 上津原仁子バレエ研究所

第18回福岡文化連盟祭り 「藝術舞台2023」



福岡を代表するアーティストによる2年に一度のコラボ舞台

会場 福岡市立南市民センター文化ホール

開催日 令和5年12月16日(土)～17日(日)

事業概要

福岡文化連盟は福岡都市圏でプロ活動をする文化人・アーティストがジャンルを超えて集う唯一の団体。

「藝術舞台」は伝統芸能、バレエなど舞台系の会員を中心に隔年開催しており、今回は演劇の会員にも輪を広げ、2日制で総合舞台とオリジナルのコラボ劇を公演。計160名が出演した。交流関係にある韓国・釜山芸術総連合会からも4年ぶりに賛助出演してもらった。

当日の状況

16日は舞踊と音楽、美術、文学を融合させた創作舞台「金印」(写真上)で開幕。邦舞とバレエによる「時雨西行」、ソ・ジョン舞踊団(釜山)による舞踊「アリラン」、バレエ、邦舞など13演目を実施。福岡文化連盟ならではの和洋混在、古典から創作まで多岐にわたる芸を披露した。

17日は戦国末期の博多を舞台に、若き武将の立花宗茂、妻間千代らが活躍する青春群像劇「博多津燃ゆ 筑前戦国秘話」(写真下)

を上演。オーディションで選んだ若手俳優を主演に抜擢し、福岡文化連盟の演劇部門はもちろん、箏や三線、筑前琵琶、茶道などの会員も劇中のパフォーマンスを担当。ユニークなコラボレーション劇に仕上げた。いずれも盛況に終えることができた。

まとめ

異ジャンルの単なる共演ではなく、同じステージ上で競演するという意味で、福岡文化連盟の持ち味であるコラボが一段と深化した。若手会員たちによる「金印」は詩人のモダンな作品に筑前琵琶が曲を付けて演奏、クラシックピアニストの伴奏で能のシテ方が舞うなど実験的試みの連続。「時雨西行」も邦舞とモダンバレエが違和感なく絡み、2日目の演劇では吟剣詩舞の会員が劇中でオリジナルの詩吟を披露、茶道の会員が史実に沿って豊臣秀吉の「箱崎茶会」を再現するなど「劇の厚み」づくりに貢献した。ただ、2日間でまったく異なるステージ構成にしたことに伴う仕込みの煩雑化や費用増、年末開催となり寒波襲来による集客減があったことなどは今後の課題といえる。

当日プログラム

12月16日(土)

- 1 青年部
創作舞台「金印」 福岡文化連盟青年部
- 2 吟剣詩舞
詩聖松口月城を詠う 福岡県吟剣詩舞道総連盟福岡地区
- 3 筑前琵琶
琵琶五絃曲「天の羽衣」 筑前琵琶福岡旭会
- 4 舞踊
舞踊「アリラン」 釜山・SEA JI YOUNG舞踊団
- 5 ハワイアンフラ
Kunihi Kaena-Pua ahihi Nani Hula Studio九州
- 6 バレエ
Twinkle 古森美智子バレエスタジオ
- 7 バレエ
「白鳥の湖」より抜粋 福岡シティ川副バレエ学苑
- 8 バレエ
死を纏った三つの情景 湖南美バレエ学院
- 9 日本舞踊・バレエ
長唄「時雨西行」
藤間流 藤間勢之助・古森バレエ 春日遥香
- 10 能 仕舞
「清経」 観世流 鷹尾維教
- 11 日本舞踊
邦楽風土記「神名火」 藤間流 藤間恵勢
- 12 日本舞踊
常磐津「山姥」 宗家藤間流 藤間三富
- 13 民舞
博多伝統芸能「博多カッチリ」他
福岡民舞舞踊四季の会

12月17日(日)

演劇 博多津燃ゆ-筑前戦国秘話-

協贊 事業編



1 第10回福岡オーガニックマルシェ

- ① 一般社団法人ジオーガニックデイズ
- ② 9月30日(土)、10月1日(日)
- ③ 舞鶴公園三ノ丸広場
- ④ 無



2 福岡市東図書館「第14回 知的書評合戦ビブリオバトル」

- ① 福岡市東図書館
- ② 10月1日(日)
- ③ なみきスクエア 1階 ひまわりひろば
- ④ 無



3 黒風船 第2回 原画展

- ① 株式会社日比谷花壇(指定管理者)
- ② 10月3日(火)～15日(日)
- ③ 旧福岡県公会堂貴賓館
- ④ 一般：200円
児童：100円
※6歳未満、65歳以上無料



4 福岡市東図書館「児童文学作家のいちにち～書くということ・伝えたい思い・本が生まれるまで～」

- ① 福岡市東図書館
- ② 10月8日(日)
- ③ なみきスクエア 1階 ひまわり会議室1
- ④ 無



協賛事業

①主催者 ②開催日 ③会場 ④入場料

5 MIN-ON 九州オリジナルコンサート Viento&和楽団 Japan Marvelous~九州大陸 大地の物語~“生きんば!”

- ① MIN-ON (一般財団法人民主音楽協会)
- ② 10月12日(木)
- ③ 福岡サンパレスホテル&ホール
- ④ A席:5,600円
B席:5,100円
C席:4,600円



6 ピアノ界の革命児×義足のダンサー!魂の共鳴!中村天平×大前光市~INFINTY~

- ① MIN-ON (一般財団法人民主音楽協会)
- ② 10月13日(金)
- ③ 田川文化センター
- ④ 5,000円



7 第51回行橋市民文化祭

- ① 行橋市・行橋市教育委員会・行橋市文化協会
- ② 10月14日(土)~11月4日(土)
- ③ コスメイト行橋、行橋中央公民館
- ④ 無



8 福岡市東図書館「生きるための絵本~命生まれるときから 命尽きるまでの絵本~」

- ① 福岡市東図書館
- ② 10月15日(日)
- ③ なみきスクエア 1階 なみきホール
- ④ 無



協賛事業

①主催者 ②開催日 ③会場 ④入場料

9 2024年コミュニケーション・アートカレンダー原画展

- ① NPO 法人コミュニケーション・アート
- ② 10月17日(火)～10月29日(日)
- ③ カフェ&ギャラリー「レ グラン」
- ④ 無



10 えーるピア久留米文化祭

- ① 公益財団法人久留米市生きがい健康づくり財団・久留米市・久留米市教育委員会
- ② 10月21日(土)～10月22日(日)
- ③ えーるピア久留米
- ④ 無



11 第20回 FOSA文化ショー

- ① 福岡県留学生会 (FOSA)
- ② 10月21日(土)
- ③ イベントホール (アクロス福岡地下2階)
- ④ 無



12 筑前琵琶保存会第59回定期演奏会～関(とき)の声～

- ① 筑前琵琶保存会
- ② 10月29日(日)
- ③ パピヨン24 ガスホール
- ④ 2,500円



13 第50回久留米ちくご大歌舞伎

- ①久留米ちくご大歌舞伎振興会・久留米ちくご大歌舞伎実行委員会
- ②10月29日(日)
- ③久留米シティプラザ「ザ・グランドホール」
- ④3,000円



14 フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～

- ①公益財団法人大野城まどかびあ
- ②10月29日(日)
- ③大野城まどかびあ大ホール
- ④一般：3,000円
高校生以下：1,500円
※3歳以上有料



15 宮地嶽第56回光の道全国競書大会

- ①宮地嶽光の道全国競書大会実行委員会
- ②①10月29日(日)～11月8日(水)
②11月21日(火)～12月3日(日)
- ③①宮地嶽神社
②九州国立博物館
- ④無



16 甘木盆俄保存公演

- ①甘木盆俄保存会
- ②10月29日(日)
- ③朝倉市総合市民センター(ピーポート甘木) 大ホール
- ④1,000円



17 第42回古賀市芸術文化の祭典

- ①古賀市・古賀市教育委員会
- ②11月1日(水)～11月5日(日)
- ③リーバスプラザこが
- ④無



18 第19回福津市民文化祭

- ①福津市文化協会
- ②11月3日(金・祝)～5日(日)
- ③福津市複合文化センター文化会館(カメラアホール)
- ④無



19 第41回大川市総合美術展

- ①大川市・大川市教育委員会・大川文化協会
- ②11月3日(金・祝)～9日(木)
- ③大川市文化センター(大川市大字酒見 221 番地 11)
- ④無



20 第45回まどか文化祭

- ①大野城市文化連盟
- ②11月4日(土)、5日(日)
- ③(公財)大野城まどかびあ大ホール・多目的ホール
- ④無



協賛事業

①主催者 ②開催日 ③会場 ④入場料

21 民音創立60周年記念 ラヤトン ジャパン・ツアー2023 フィンランド史上最高のアカペラ・グループ、待望の再来日!

- ① MIN-ON (一般財団法人民主音楽協会)
- ② ① 11月5日(日)
② 11月6日(月)
- ③ ①北九州ソレイユホール
②アクロス福岡シンフォニーホール
- ④ A席:7,500円 B席:7,000円 C席:6,500円
※C席 福岡公演のみ



22 令和5年度朝倉市民芸術祭 あさくら音楽祭

- ① 甘木連合文化会
- ② 11月5日(日)
- ③ ピーポート甘木 大ホール
- ④ 無

23 FUKUOKA TEXTILE展 織物デザイナー Tissage Nishi 西智子 作品展

- ① 株式会社日比谷花壇 (指定管理者)
- ② 11月7日(火) ~ 11月12日(日)
- ③ 旧福岡県公会堂貴賓館
- ④ 一般:200円
児童:100円
※6歳未満、65歳以上無料



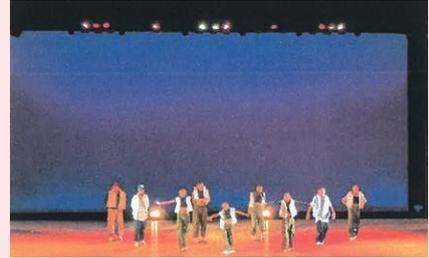
24 民音創立60周年記念 ANATA(アナタ)・BOLIVIA(ボリビア) アンデスから届けよう喜びの歌

- ① MIN-ON (一般財団法人民主音楽協会)
- ② ① 11月9日(木)
② 11月10日(金)
- ③ ①イイズカコスモスコモン
②サザンクス筑後
- ④ A席:6,000円
B席:5,500円



25 第6回那珂川市民文化祭

- ①那珂川市、那珂川市教育委員会、那珂川市文化協会、公益財団法人那珂川市教育文化振興財団
- ②11月11日(土)、12日(日)
- ③ミリカローデン那珂川、ふれあいこども館
- ④無



26 第34回小郡市民文化祭

- ①小郡市民文化祭実行委員会、小郡市、小郡市教育委員会、小郡市文化協会
- ②11月11日(土)、12日(日)
- ③小郡市文化会館、小郡市生涯学習センター
- ④無



27 福岡市東図書館「7人の語り手による おはなしあれこれ」

- ①福岡市東図書館
- ②12月10日(日)
- ③なみきスクエア ひまわり会議室
- ④無



28 行橋連歌大会

- ①連歌大会行橋市実行委員会
- ②11月11日(土)
- ③今井浄喜寺
- ④1,000円



協賛事業

①主催者 ②開催日 ③会場 ④入場料

29 第27回マナビィランド

- ①久留米生涯学習推進市民協会
- ②11月12日(日)
- ③えーるピア久留米 全館
- ④無



30 第64回(令和5年度)朝倉市美術展

- ①朝倉市美術展実行委員会
- ②11月14日(火)～23日(木・祝)
- ③朝倉市総合市民センター(ピーポート甘木) 2階 学習室
- ④無



31 第13回裂田溝ライトアップ

- ①裂田溝ライトアップ実行委員会
- ②11月18日(土)
- ③那珂川市山田区(伏見神社)～安徳区(カワセミ公園)
- ④無



32 令和5年度民謡民舞福岡県南部連合大会

- ①公益財団法人日本民謡協会 福岡県南部連合委員会
- ②11月19日(日)
- ③久留米市 文化センター共同ホール
- ④無



33 嶺清流筑前琵琶「おおとり座」第2回定期演奏会 それぞれの戦い

- ①嶺清流筑前琵琶「おおとり座」
- ②11月23日(木・祝)
- ③法光山 専立寺・本堂
- ④〈前売〉一般：1,000円 小学生：500円
〈当日〉一般：1,200円 小学生：700円
※未就学児無料



34 黒田長政没後400年 東蓮寺藩誕生400年記念事業

- ①九州桃山茶陶研究会
- ②11月25日(土)
- ③ユメニティのおがた
- ④無



35 バイオリンとピアノの名曲リサイタル

- ①モチコピアノスクール
- ②11月25日(土)
- ③FFG ホール
- ④4,000円



36 精華女子短期大学コミュニティーオーケストラ20周年記念 第20回定期演奏会

- ①精華女子短期大学コミュニティーオーケストラ精華女子短期大学
- ②11月26日(日)
- ③アクロス福岡シンフォニーホール
- ④1,000円
※小学生以下無料



37 箏曲宮城会九州支部演奏会

- ① 箏曲宮城会九州支部
- ② 11月26日(日)
- ③ 福岡市立中央市民センターホール
- ④ 1,500円



38 ボディパーカッション実践講座

- ① 博多音楽療法コミュニティ・LINKS
- ② 11月26日(日)
- ③ そびあしんぐう 多目的ホール
- ④ 2,000円



39 令和5年度朝倉市民芸術祭 秋の芸能祭

- ① 甘木連合文化会
- ② 11月26日(日)
- ③ ビーボート甘木 大ホール
- ④ 無

40 第30回記念アジア美術家連盟日本委員会展

- ① アジア美術家連盟日本委員会
- ② 11月30日(木)～12月5日(火)
- ③ 福岡アジア美術館 企画ギャラリー A、B、C 室
- ④ 無



協賛事業

①主催者 ②開催日 ③会場 ④入場料

41 「ガムラン∞天女の舞」曼荼羅

- ①アートカフェコレクティブ
- ② 12月1日(金)、2日(土)
- ③福岡アジア美術館「アートカフェ」
- ④前売：3,000円
当日：3,500円



42 民音創立60周年記念 インドミュージカル「ムンバイ☆スター」話題のポリウッドダンスが躍動する、愛と師弟の物語!

- ① MIN-ON (一般財団法人民主音楽協会)
- ② ① 12月1日(金)
② 12月2日(土)
- ③ ①福岡サンパレスホテル&ホール
②北九州ソレイユホール
- ④ A席：7,500円 B席：7,000円 C席：6,500円
※ C席 福岡公演のみ



43 2023バレエ&モダンダンス一時間(とき)のかけらー

- ①後藤バレエスタジオ
- ② 12月3日(日)
- ③田川文化ホール 大ホール
- ④無



44 第30回 賢順記念全国箏曲祭 賢順記念全国コンクール

- ①一般社団法人賢順記念全国箏曲祭振興会
- ② 12月3日(日)
- ③久留米市 石橋文化ホール
- ④ 800円
※高校生以下無料



45 賢順記念全国コンクール

- ①ちくしの人形劇まつり実行委員会
- ②12月10日(日)
- ③筑紫野市文化会館
- ④<プロ劇団>
高校生以上：1,000円 3歳以上中学生まで：100円
<アマチュア劇団>
高校生以上：500円 3歳以上中学生まで：100円



46 福岡市東図書館「クリスマスおはなし会」

- ①福岡市東図書館
- ②12月17日(日)
- ③なみきスクエア2階 第1・2会議室
- ④無



47 筑紫野市吹奏楽団 第43回定期演奏会

- ①筑紫野市吹奏楽団
- ②12月24日(日)
- ③筑紫野市文化会館 大ホール
- ④500円
※小学生以下無料(3歳以下の入場不可)



資料編



令和5年度 ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会名簿

	役職	氏名	現職名	分野等
1	会長	服部 誠太郎	福岡県知事	会則第5条1項
2	顧問	香原 勝司	福岡県議会議長	会則第7条2項
3	委員長	貫 正義	福岡県文化団体連合会会長	会則第5条2項
4	副委員長	大曲 昭恵	福岡県副知事	会則第5条3項
5	委員	吉田 法稔	福岡県教育委員会教育長	行政・議会
6	〃	井上 澄和	福岡県市長会会長	行政・議会
7	〃	美浦 喜明	福岡県町村会会長	行政・議会
8	〃	今林 久	福岡県文化議員連盟会長	行政・議会
9	〃	坪田 晋	福岡県議会文教委員会	行政・議会
10	〃	室屋 美香	福岡県議会県民生活商工委員会	行政・議会
11	〃	宇田川 宣人	福岡県文化団体連合会理事長	文化・教育
12	〃	齋藤 豊治	九州大谷短期大学名誉教授	文化・教育
13	〃	重松 典子	福岡県公立文化施設協議会会長	文化・教育
			(公財)アクロス福岡 業務執行理事	社会教育・福祉等
14	〃	高松 大輔	福岡県高等学校芸術・文化連盟会長	文化・教育
15	〃	片山 寛詞	福岡県中学校文化連盟会長	文化・教育
16	〃	森 弘子	福岡県文化財保護審議会会長	文化・教育
17	〃	八尋 太郎	福岡県私学協会会長	文化・教育
18	〃	武井 政一	福岡県公民館連合会会長	社会教育・福祉等
19	〃	酒見 俊夫	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会会長	社会教育・福祉等
20	〃	武濤 研二郎	(公財)福岡県国際交流センター 専務理事	社会教育・福祉等
21	〃	大塚 洋	(公財)福岡県身体障害者福祉協会 理事長	社会教育・福祉等
22	〃	横山 利恵子	(公社)福岡県手をつなぐ育成会会長	社会教育・福祉等
23	〃	檜橋 恭一	(公社)福岡県精神保健福祉会連合会会長	社会教育・福祉等
24	〃	古宮 洋二	九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員	地域経済
25	〃	林田 浩一	西日本鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員	地域経済
			(公社)福岡県観光連盟会長	観光・物産等
26	〃	谷川 浩道	福岡県商工会議所連合会会長	地域経済
27	〃	花田 稔之	福岡県商工会連合会会長	地域経済
28	〃	野田 康友	(公社)日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会会長	地域経済
29	〃	乗富 幸雄	福岡県農業協同組合中央会会長	地域経済
30	〃	田中 正治	NPO 法人文化ボランティアとびうめの会代表理事	ボランティア団体
31	監事	坂田 茂樹	福岡県教育庁教育総務部財務課長	行政・議会
32	〃	橋本 剛	株式会社西日本新聞社企画事業室事業部長	マスコミ

令和6年2月現在

令和5年度 ふくおか県民文化祭企画委員会委員名簿

	役職	氏名	現職・公職歴
1	委員長	宇田川 宣人	福岡県文化団体連合会理事長
2	副委員長	齋藤 豊治	九州大谷短期大学名誉教授
3	委員	田中 正直	福岡県文化団体連合会副会長(地域別代表)
4	〃	田中 日出夫	福岡県合唱連盟理事長
5	〃	石川 純一	福岡県文化団体連合会副会長(分野別代表)
6	〃	坂田 隆史	(株)CROSS FM 代表取締役社長
7	〃	稲永 正幸	公益財団法人福岡県身体障害者福祉協会常務理事
8	〃	谷川 佳枝子	太宰府天満宮文化研究所特別研究員

第31回ふくおか県民文化祭2023開催テーマ

文化の継承

～心揺さぶる感動をあなたへ～

みやざき のりこ
宮崎 紀子さん (大牟田市)

お問い合わせ先



ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 (福岡県人づくり・県民生活部 文化振興課)

TEL 092-643-3383 FAX 092-643-3347

福岡県文化団体連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 (吉塚合同庁舎2F)

TEL 092-643-2875 FAX 092-643-2876

ホームページ

<http://www.kenbunsai-fukuoka.jp/>

【主催】ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会、福岡県、福岡県教育委員会、開催市町村、
福岡県文化団体連合会、福岡県障害者社会参加推進センター、ふくおか県民文化祭事業別実行委員会

【後援】朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK北九州放送局、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、FBS福岡放送、
九州朝日放送、テレQ、TNCテレビ西日本、FM FUKUOKA、CROSS FM、LOVE FM、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社